

このたびは、日本アンテナ製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。工事の際には施工説明書に従って施工をおこなってください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。また、正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上の注意」をごらんください。

取扱説明書



Model
HOM770Q

取扱上の注意

取付工事は、専門の施工業者にご依頼ください。

メンテナンス

いつでも美しいテレビ映像をお楽しみいただくために、年に1回は専門業者に保守・点検をご依頼ください。

目次

表紙

説明の始まる
ページ

〔取扱説明書〕

取扱上の注意	1
メンテナンス	1
安全上の注意	2
廃棄上の注意	2
特長	3
付属品	3
各部の名称および機能	4
性能規格	6
前面パネルLED表示について	7
アラーム接点出力について	12







〔施工説明書〕

設置場所・条件	13
同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法	13
アラーム接点出力の接続方法	13
ラックマウント金具取付方法	14
LANの接続	18
本器の設定方法	21
簡易視聴制限ソフトウェアの設定方法	53
簡易視聴制限ソフトウェアの使い方	59
使用上の注意	60
工場出荷時設定一覧	61

安全上の注意

絵表示について

この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
絵表示の例	
	△記号は注意（注意・警告・危険を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

警告

●ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



●万一、本器を落としたり、破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使わないでください。火災・感電の原因となります。



●本器の内部パネルをはずしたり、本器を改造したりしないでください。また、本器の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

●本器に水が入ったり、本器の内部がぬれたりしないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。



水ぬれ禁止

●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり（熱器具に近づけたり）引っぱったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのままご使用になると火災・感電の原因となります。



●万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●万一、異物が本器の内部に入った場合は、まず、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

●本器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。また、本器が変形し、火災・感電の原因となることがあります。



●湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所（調理台や加湿器のそば）に置かないでください。また、振動のある場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●直射日光の当たる所、温室やサンルームなどの温度や湿度の高いところに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



廃棄上の注意

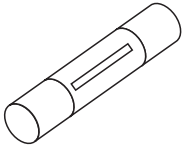
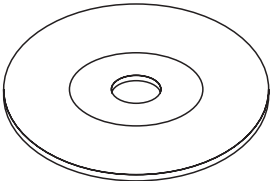

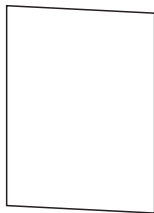
本器のすべて、または部品を廃棄する場合には、自治体の定めた条例にしたがって処理してください。

特 長

1. 本器は、HD1チャンネルまたはSD4チャンネルの映像・音声信号をMPEG2エンコードし、ISDB-T方式でRF出力します。
2. 出力チャンネルはVHF(1~12ch)、CATV(C13~C63ch)、UHF(13~62ch)で任意に設定することが可能です。
3. 映像・音声入力はSMPTE259M/292Mデジタル入力1チャンネルまたはNTSCアナログ入力4チャンネルに対応しております。
4. SI/PSI情報を設定して多重することが可能です。
5. 地上デジタル放送波(ワンセグ)の受信またはNTPサーバーからの時刻データ取得を選択して時刻情報を補正することが可能です。
6. LAN端子(10BASE-T/100BASE-TX)よりPCに接続し、WEBブラウザを使用して機器設定をおこないます。
7. アラーム接点出力機能を搭載しておりますので、監視装置と組み合わせることにより容易に遠隔監視をおこなうことが可能です。
8. 簡易EPG機能を搭載しておりますので、簡易的なテレビの番組表を出力できます。
9. 映像入力に簡易TBC機能を搭載しておりますので、アナログ映像入力の品質を保つことが可能です。
10. 付属の簡易視聴制限ソフトウェアAMuxInterCASを使用してARIBの規格に準拠したデータ放送対応のテレビに対して視聴制御することが可能です。
11. 1Uハーフサイズの小型設計です。
12. 別売オプションにラック取付金具(1台取付用：HOM-RS1/2台取付用：HOM-RS2)を用意しております。

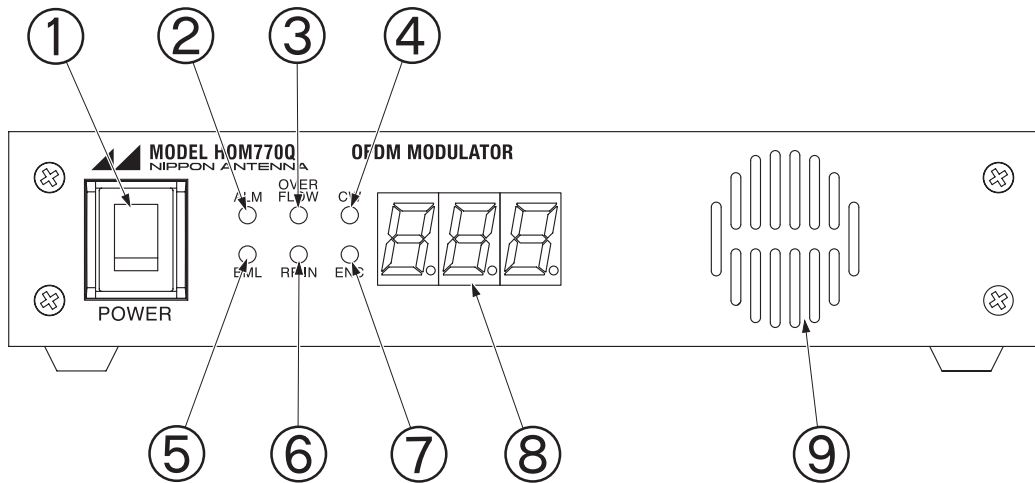
付 属 品

●お取付けの前に下図の部品が間違いなく入っているか、ご確認ください。

予備ヒューズ	取扱説明書 付属ソフトウェア	操作ガイド	試験成績書
 1個	 1枚	 1部	 1部

各部の名称および機能

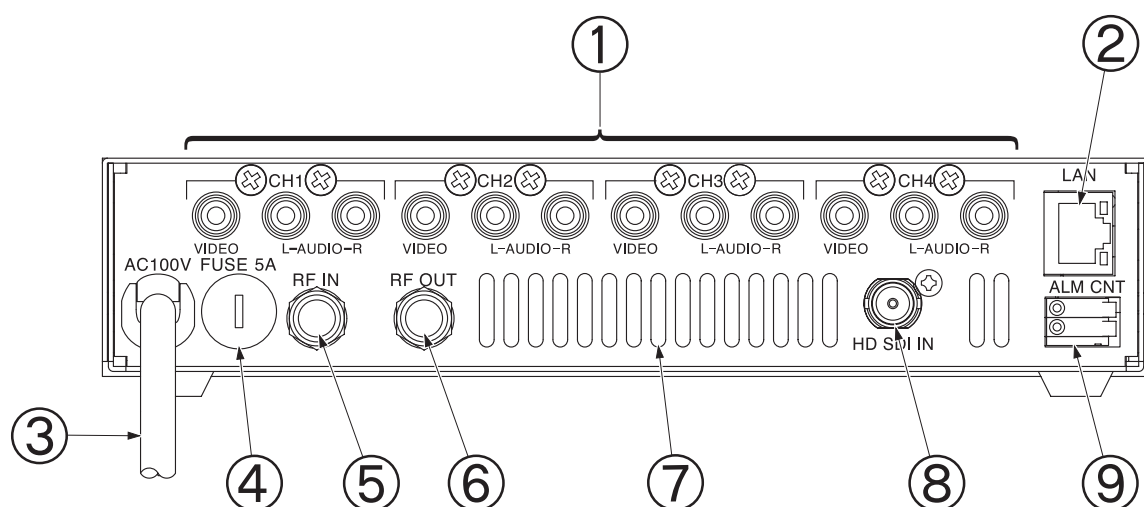
前面



①	電源スイッチ	本器の電源の入／切をおこないます。
②	ALM表示LED	エラーが発生した際に点灯します。
③	OVER FLOW表示LED	マルチプレクサに入力されるTSビットレートが有効TSビットレート（データに使用できる最大レート）を超えている際に点灯します。
④	CWモード表示LED	CWモードを使用している際に点灯します。
⑤	BML表示LED	BML機能を使用している際に点灯します。
⑥	RF IN表示LED	地上デジタル放送（ワンセグ）を正常に受信している際に点灯します。
⑦	ENC表示LED	内蔵のエンコーダーが正常に動作している際に点灯します。
⑧	表示部LED	下記の3項目が表示されます。 ●通常時：出力RFチャンネルを表示します。 ●エラー時：発生中のエラー番号を表示します。 ●IPアドレス：設定されているIPアドレスを表示します。
⑨	FAN吸気口	冷却用FANの吸気口です。

⚠ 注意 FAN吸気口がふさがることのないようにご使用ください。機器故障の原因となります。

■背面



①	映像・音声入力端子(アナログ)	NTSCアナログ映像・音声入力(RCAピン)4チャンネルです。
②	LAN端子	10BASE-T/100BASE-TXネットワーク接続端子です。LANを経由してPCと接続します。
③	AC100V	ACコードからAC100V電源を供給します。
④	ヒューズ(定格5A)	ヒューズが熔断した場合は、原因を取り除いてから、予備ヒューズと交換してください。
⑤	RF入力端子	地上デジタル放送(ワンセグ)のRF入力端子です。時刻データを取得する場合に使用します。
⑥	RF出力端子	RF出力端子です。
⑦	排気口	筐体内の熱を排気します。
⑧	映像・音声入力端子(デジタル)	SMPTE259M/292Mデジタル映像・音声入力(BNC)1チャンネルです。
⑨	アラーム接点出力	エラーと連動して動作する無電圧接点(ドライ接点)です。正常時：ショート、エラー時：オープン動作を行います。

ポイント

アラーム接点出力に使用可能な電線は、下記の範囲の電線になります。

単線：φ0.4mm(AWG26)～φ1.2mm(AWG16)

より線：0.2mm²(AWG24)～0.75mm²(AWG20)

剥き線の長さ：10mm

⚠ 注意

●必ず指定されたヒューズ(タイムラグヒューズ)をご使用ください。指定外品のご使用は故障の原因となります。

●排気口がふさがることのないようにご使用ください。機器故障の原因となります。

性能規格

項 目		標 準 性 能	備 考
SDI 入力	入力信号形式	SMPTE259M/292M	
	入力レベル (mVp-p)	720~950	75Ω BNC
映像 入力	入力信号形式	アナログNTSC 4系統	
	入力レベル (Vp-p)	1.0±0.2	75Ω RCAピン
音声 入力	入力信号形式	アナログ2ch(L+R) 4系統	
	入力レベル (Vrms)	1.0(最大)	RCAピン(右、左)、不平衡 40kΩ
エン コー ダ 符 号 化 方 式	映像符号化方式	MPEG2 MP@ML	
	映像フォーマット	720×480i/1920×1080i, 1440×1080i	
	映像符号化レート (Mbps)	(SD) 1.0~8.0/(HD) 2.0~20.0	0.2Mbpsステップ可変
	音声符号化方式	MPEG2 AAC LC-Profile	2ch(ST, DU) 1ch(MONO)
	音声符号化レート (Kbps)	48/64/96/128/192/256/320/384	
	エンコーダディレイ	0.8~3.0	(HDのみ)
地デジ 受信部	受信チャンネル	U13~62chの内任意の1ch	470~770MHz, ワンセグ放送受信
	入力レベル (dBμV)	55~100	75Ω F型 フルセグメント換算値
RF 出力	出力チャンネル	1~62ch, CATVch含む(90MHz~770MHz)	+1/7MHzオフセット有り
	出力レベル (dBμV)	95~110	75Ω F型 1dBステップ可変
OFDM 伝 送 パ ラ メ ー タ	伝 送 モ ー ド	Mode3	
	キャリア変調方式	64QAM	
	ガードインターバル比	1/16	
	周波数セグメント数	13セグメント	
	時間インターリーブ	1=2	
	内符号符号化率	7/8	
制 御 インター フェイス	通信インターフェイス	IEEE802.3/イーサネット準拠	10Base-T/100Base-TX
	プロトコル	TCP/IP, UDP/IP	RJ-45
ア ラ ーム 出力	接 点 出 力	無電圧接点出力 正常:ショート 異常:オープン (AC125V 0.3A MAX, DC30V 1A MAX)	
	使用可能電線範囲	単線: φ0.4mm~φ1.2mm (AWG26~AWG16) 撚線: 0.2mm ² ~0.75mm ² (AWG24~AWG20)	剥き線長10mm
電 源 電 圧 (V)		AC100 50/60Hz	±10%
消 費 電 力 (W)		32以下	
使 用 温 度 範 囲 (°C)		0~+40	本体周囲温度
外 形 寸 法 (mm)		210(W)×44(H)×340(D)	突起物は含まず
質 量 (kg)		2.5以下	

前面パネルLED表示について

本器は前面パネルに実装したLEDによって本器の状態を表示します。
各LEDの表示状態について説明します。

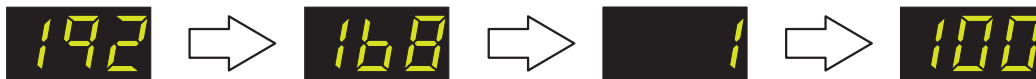
①表示部LED

表示部LEDでは、3つの内容を表示します。

1. IPアドレス

1分に1回設定されているIPアドレスを表示します。IPアドレスは他の内容に優先して表示されます。

■表示例



3桁ずつIPアドレス：192.168.1.100を表示します。

2. エラー番号

エラーが発生している時は、エラー番号を表示します。同時に複数のエラーが発生している時はエラー番号の大きいエラーを優先して表示します。エラー番号はRFチャンネルに優先して表示されます。

エラー番号表示の際、アラーム接点出力はオープン動作をおこないます。

●エラー番号・エラー内容一覧

エラー番号	エラー内容
E01	チャンネル1に映像信号の入力がありません。
E02	チャンネル2に映像信号の入力がありません。
E03	チャンネル3に映像信号の入力がありません。
E04	チャンネル4に映像信号の入力がありません。
E05	エンコーダー1（チャンネル1エンコーダー）のビデオTS出力に異常があります。
E06	エンコーダー2（チャンネル2エンコーダー）のビデオTS出力に異常があります。
E07	エンコーダー3（チャンネル3エンコーダー）のビデオTS出力に異常があります。
E08	エンコーダー4（チャンネル4エンコーダー）のビデオTS出力に異常があります。
E09	エンコーダー1（チャンネル1エンコーダー）のオーディオTS出力に異常があります。
E010	エンコーダー2（チャンネル2エンコーダー）のオーディオTS出力に異常があります。
E011	エンコーダー3（チャンネル3エンコーダー）のオーディオTS出力に異常があります。
E012	エンコーダー4（チャンネル4エンコーダー）のオーディオTS出力に異常があります。
E013	マルチプレクサに入力されるTSレートが使用可能な最大TSレートを超過しています。

■表示例



エラー番号：E04、E07、E13のエラーが同時に発生しています。
E13のエラーを処理するとE07が表示されます。同様に、E07のエラーを処理するとE04が表示されます。
E04のエラーを処理し全てのエラーを解決するとRFチャンネル表示に戻ります。

3. RFチャンネル

設定されているRFチャンネルを表示します。RFチャンネルはIPアドレスまたはエラー番号が表示されていない通常動作時に表示されます。

■表示例

●VHFチャンネル表示



チャンネル番号を二桁で表示します(01~12)。

●CATVチャンネル表示



C+チャンネル番号を三桁で表示します(013~63)。

●UHFチャンネル表示



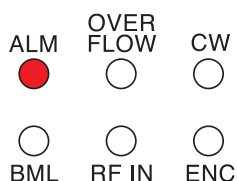
U+チャンネル番号を三桁で表示します(013~62)。

②ALM表示LED

本器のエラーの発生状態を表示します。エラーが発生している時LEDが赤く点灯します。
ALM表示LED点灯の際、アラーム接点出力はオープン動作を行います。

LED点灯状態	状 態
消灯	正常に動作しています。
赤色点灯	チャンネル1に映像信号の入力がありません。
	チャンネル2に映像信号の入力がありません。
	チャンネル3に映像信号の入力がありません。
	チャンネル4に映像信号の入力がありません。
	エンコーダー1（チャンネル1エンコーダー）のビデオTS出力に異常があります。
	エンコーダー2（チャンネル2エンコーダー）のビデオTS出力に異常があります。
	エンコーダー3（チャンネル3エンコーダー）のビデオTS出力に異常があります。
	エンコーダー4（チャンネル4エンコーダー）のビデオTS出力に異常があります。
	エンコーダー1（チャンネル1エンコーダー）のオーディオTS出力に異常があります。
	エンコーダー2（チャンネル2エンコーダー）のオーディオTS出力に異常があります。
	エンコーダー3（チャンネル3エンコーダー）のオーディオTS出力に異常があります。
	エンコーダー4（チャンネル4エンコーダー）のオーディオTS出力に異常があります。
	マルチプレクサに入力されるTSレートが使用可能な最大TSレートを超過しています。
	冷却用FANに異常があります。正常時の半分以下の回転数になっています。
RF入力(ワンセグ)が受信できません(時刻合わせ設定：チューナーの時のみ)。	
内蔵エンコーダーを認識できません。	

■表示例



エラー発生の際、赤くLEDが点灯します。

ポイント

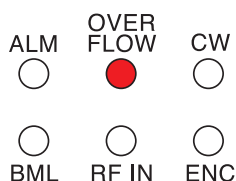
エラー発生状態の詳細は、本器WEBブラウザ設定メニュー「システムログ」で確認できます。

③ OVER FLOW表示LED

マルチプレクサに入力されるTSレートの設定状態を表示します。マルチプレクサに入力されるTSレートが使用可能な最大TSレートを超える設定値になっている時LEDが赤く点灯します。

LED点灯状態	状 態
消灯	正常に動作しています。
赤色点灯	マルチプレクサに入力されるTSレートが使用可能な最大TSレートを超える設定値になっています。

■表示例



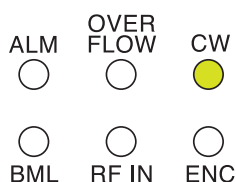
マルチプレクサに入力されるTSレートが使用可能な最大TSレートを超えている際にLEDが赤く点灯します。

④ CWモード表示LED

本器のCWモードの設定状態を表示します。CWモードをオンに設定している時にLEDが緑に点灯します。

LED点灯状態	状 態
消灯	CWモードがオフに設定されています。
緑色点灯	CWモードがオンに設定されています。

■表示例



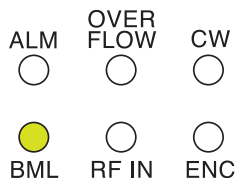
- CWモードをオンに設定している際にLEDが緑に点灯します。
- CWモードがオンの時は、RF出力信号が変調無しのカリヤレベル出力となります。

⑤BML表示LED

BMLデータの送信状態を表示します。BMLデータを送信している時LEDが緑に点灯します。

LED点灯状態	状 態
消灯	BMLデータを送信しません。
緑点灯	BMLデータを送信しています。

■表示例



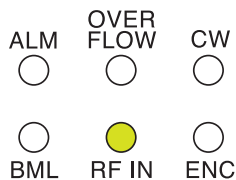
BMLデータ送信をおこなっている際にLEDが緑に点灯します。

⑥RF IN表示LED

RF入力端子に入力される地上デジタル放送(ワンセグ)の受信状態を表示します。正常に受信している時LEDが緑に点灯します。

LED点灯状態	状 態
消灯	地上デジタル放送(ワンセグ)が正常に受信できていません。
緑点灯	地上デジタル放送(ワンセグ)が正常に受信できています。

■表示例



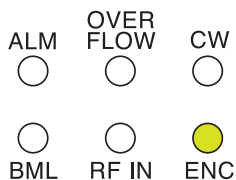
RF入力(ワンセグ)を正常に受信すると緑に点灯します。

⑦ENC表示LED

エンコーダーの動作状態を表示します。エンコーダーが正常に動作している際LEDが緑に点灯します。

LED点灯状態	状 態
消灯	エンコーダーが全て停止しているか、エンコーダーにエラーが発生しています。
緑色点灯	エンコーダーが正常に動作しています。

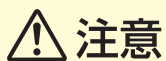
■表示例



エンコーダーが正常動作している際に緑に点灯します。

アラーム接点出力について

本器はアラーム接点出力が1点備わっており、無電圧接点(ドライ接点)対応の接点入力をもつ監視装置を用いて状態を監視することができます。無電圧接点(ドライ接点)は正常時にショート、異常時にオープンとなります。



注意

監視装置の接点入力条件を必ずご確認ください。正しく接続しないと機器故障の原因となります。

●接続方法に関してはP.13の「アラーム接点出力の接続方法」をご覧ください。

施工説明書

設置場所・条件

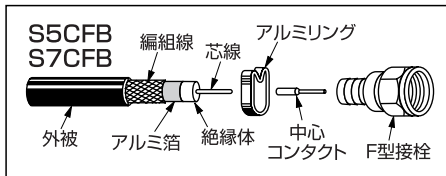
- 高温の場所、直射日光にあたる場所、有毒ガスなどの発生する場所は避けてください。
- 電気配線、配線工作物の近くや、強い電磁場を受ける場所を避けてください。
- メンテナンスに容易な場所を選定してください。

同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの

カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ、圧着工具。

■各部の名称

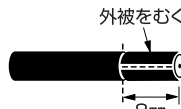


ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
- 同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。

●F型接栓締付トルク 2.0N・m (約20kgf・cm)

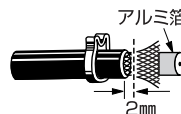
- ① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



- ② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



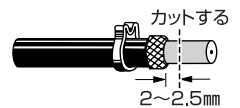
- ③ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



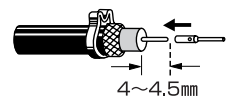
- ④ 編組線をめくり返します。



- ⑤ 編組線から2mmはなしてアルミ箔、絶縁体を切り、抜きとります。

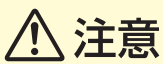
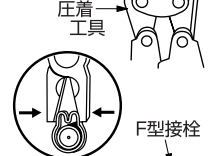


- ⑥ 芯線を4~4.5mmにカットし、中心コンタクトを芯線に根元まで挿入してペンチ、圧着工具などで中心コンタクトが抜けないようにカシメます。



ピンを圧着

- ⑦ F型接栓をアルミ箔と編組線の間にはさみ、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

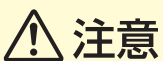
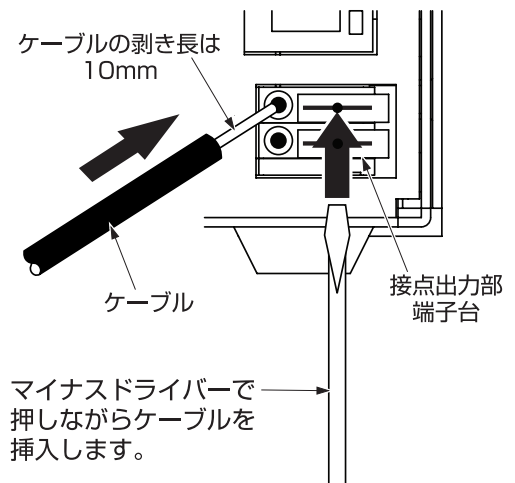


注意

加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因になります。

アラーム接点出力の接続方法

- ①お使いになる監視装置の接点入力が無電圧接点(ドライ接点)対応であることをご確認ください。
- ②使用するケーブルが以下の範囲のものをご確認ください。
単線：φ0.4mm (AWG26)～φ1.2mm (AWG16)
より線：0.2mm² (AWG24)～0.75mm² (AWG20)
- ③監視装置の電源が切れていることをご確認ください。
- ④端子台のボタンをマイナスドライバーなどで押してロックを解除し、ケーブルを差し込んでください。ケーブルを差し込んだ後はボタンを元の位置に戻し、ロックをかけてください。
- ⑤ケーブルを監視装置の接点部と接続してください。
- ⑥監視装置の電源を入れて、設定完了です。



注意

ケーブルの抜き差しは必ず電源を切った状態でおこなってください。機器故障や感電の原因になります。

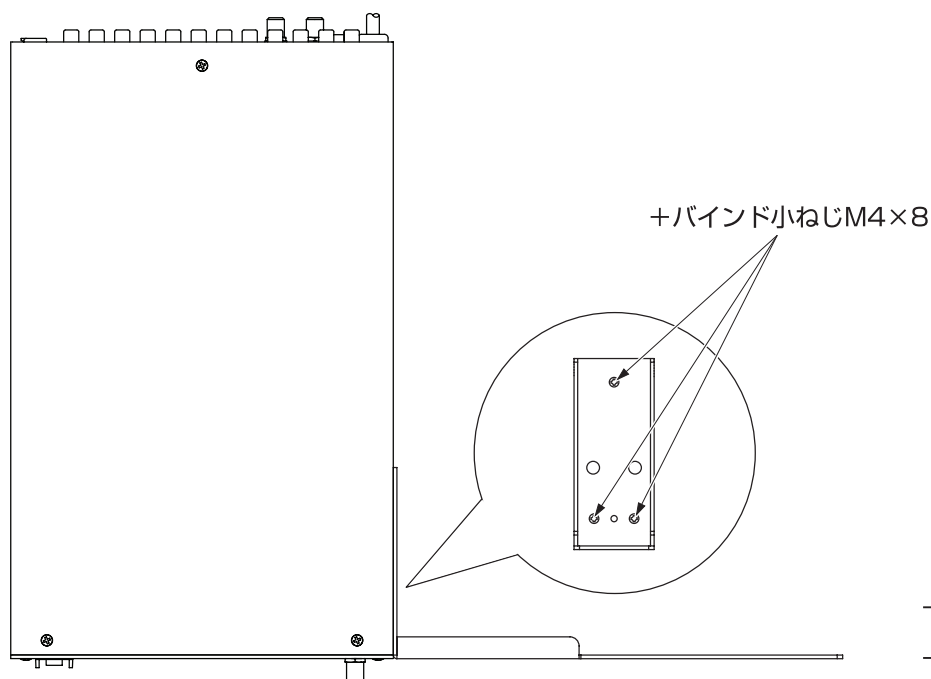
ラックマウント金具取付方法

本器は別売品のラックマウント金具 (HOM-RS1またはHOM-RS2) を用いてラックに取付けることができます。ラックマウント金具をご使用の際は以下に記載する内容をよく読み間違いのないよう取付けてください。

- HOM-RS1……ラックマウント金具1台用
- HOM-RS2……ラックマウント金具2台用

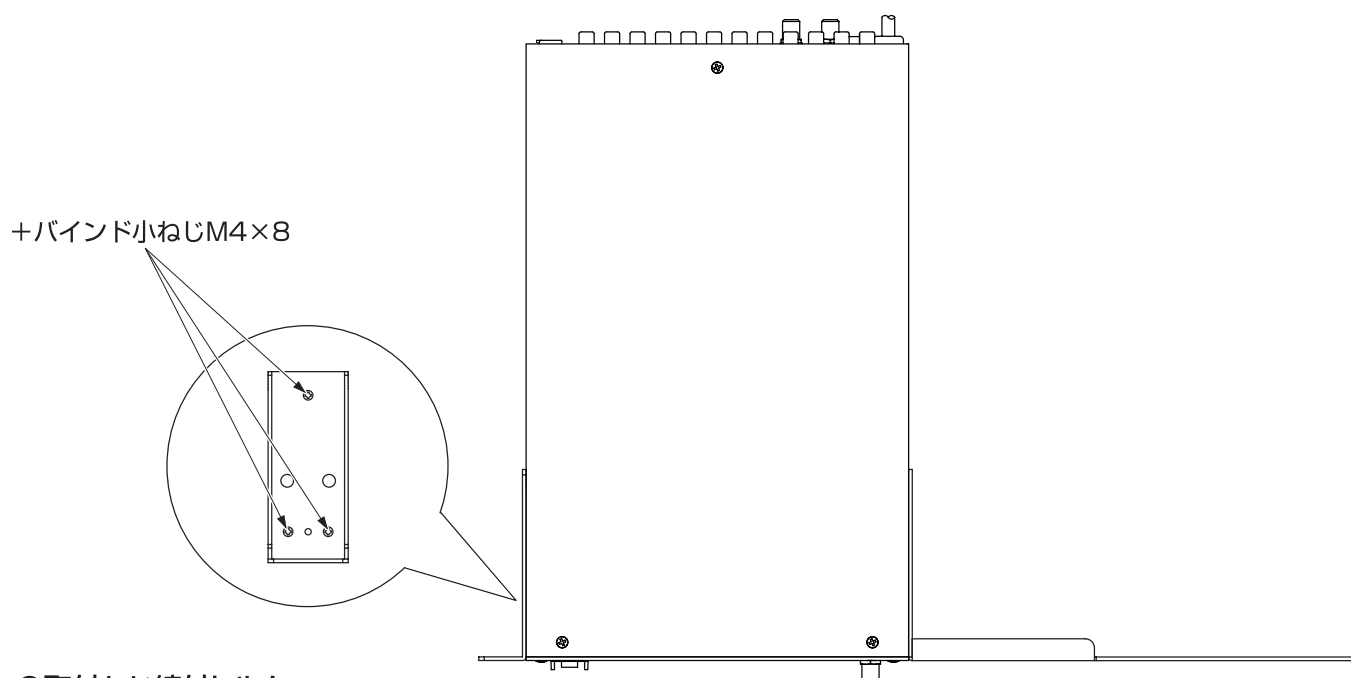
HOM-RS1

①本器にL型金具(大)をねじで固定します。



●取付ねじ締付トルク
0.6N・m (約6.0kgf・cm)

②本器にL型金具(小)をねじで固定します。

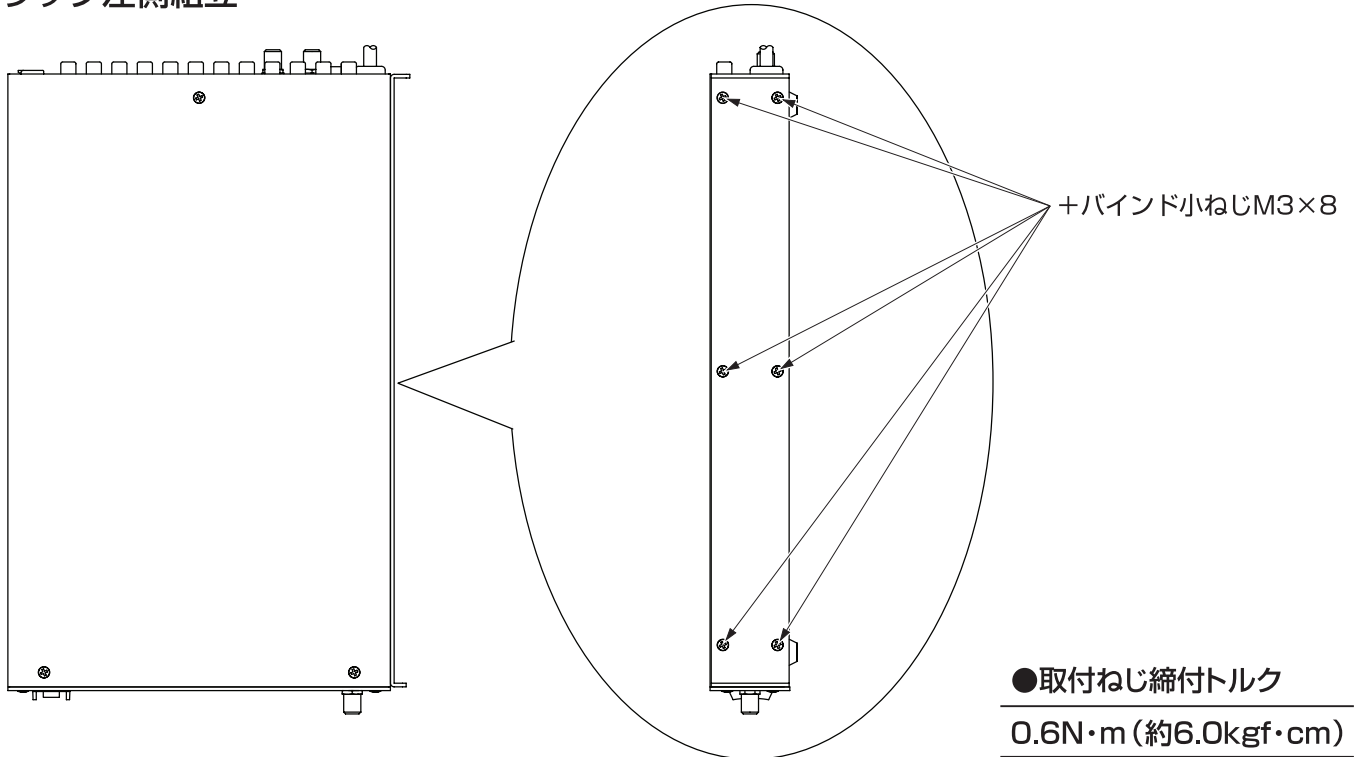


●取付ねじ締付トルク
0.6N・m (約6.0kgf・cm)

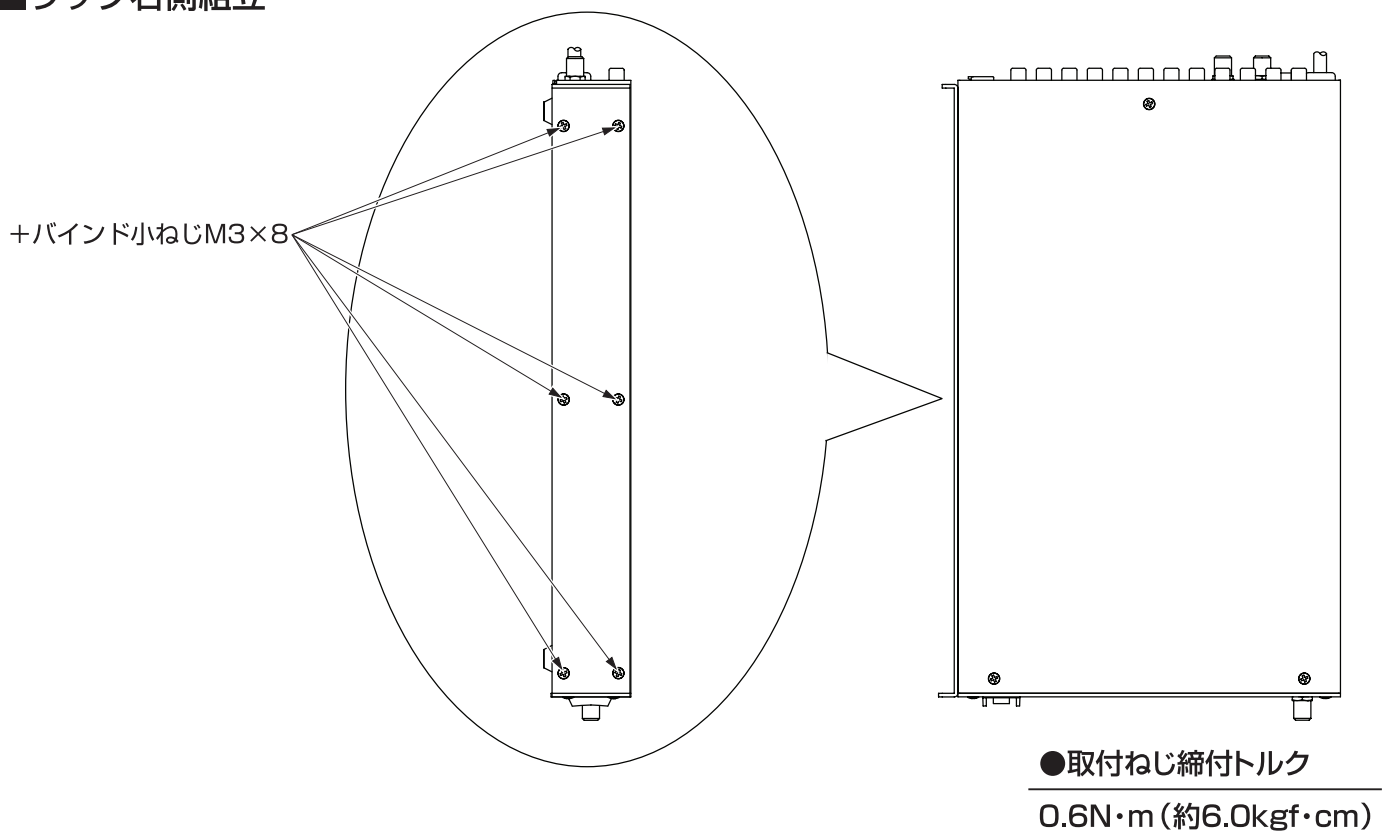
HOM-RS2

- ①本器にジョイント金具をねじで固定します。2台それぞれにジョイント金具を下図のように取付けてください。

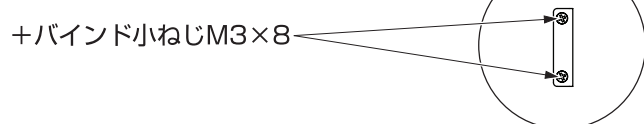
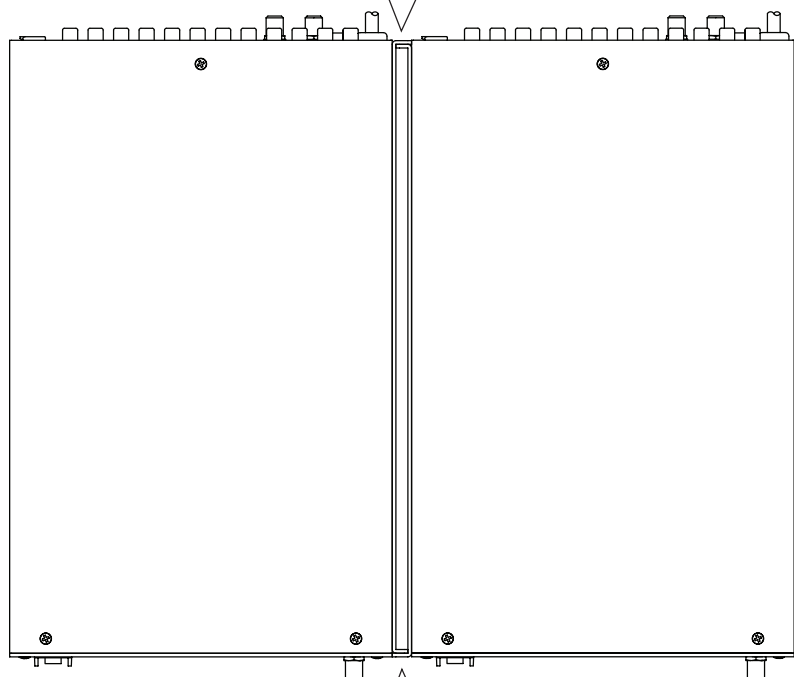
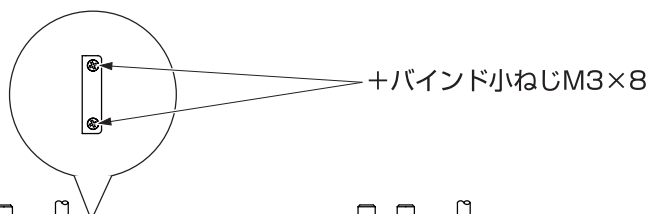
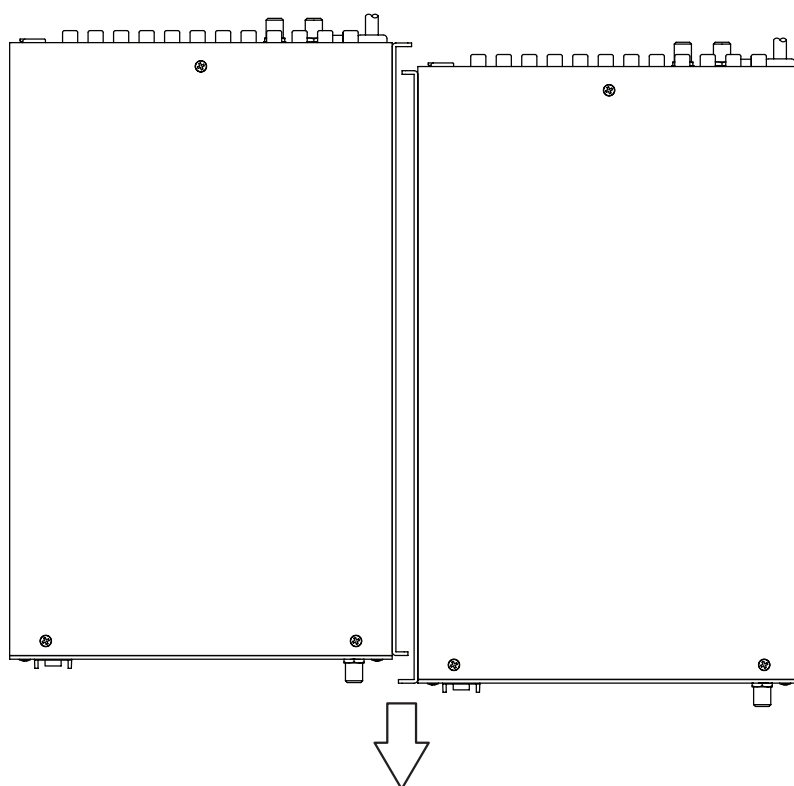
■ラック左側組立



■ラック右側組立

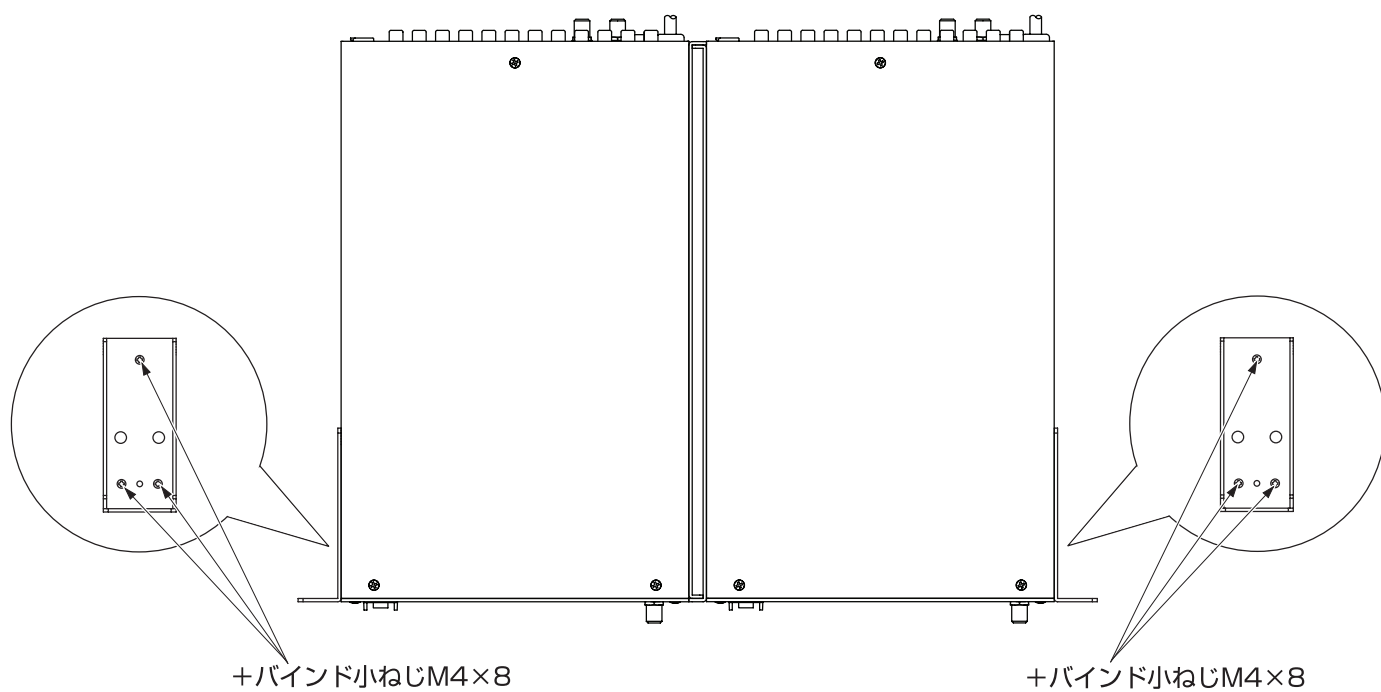


②①で組立てたラック左側、ラック右側をねじで連結します。右側が前になるようにねじを取付けてください。



●取付ねじ締付トルク
0.6N・m (約6.0kgf・cm)

③本器にL型金具（小）をねじで固定します。



●取付ねじ締付トルク

0.6N・m (約6.0kgf・cm)

LANの接続

●本器はPCとLAN接続して設定をおこないます。最初に下記の手順に従ってPCを設定してください。

①PC側のIPアドレスを設定します。

例1. WindowsXPの場合

1. [スタート] ボタンを押し、[マイネットワーク]にカーソルを合わせて右クリックします。
表示メニューから[プロパティ]を選び、左クリックしてください。



2. [ローカルエリア接続]にカーソルを合わせて右クリックします。
表示メニューから[プロパティ]を選び、左クリックしてください。

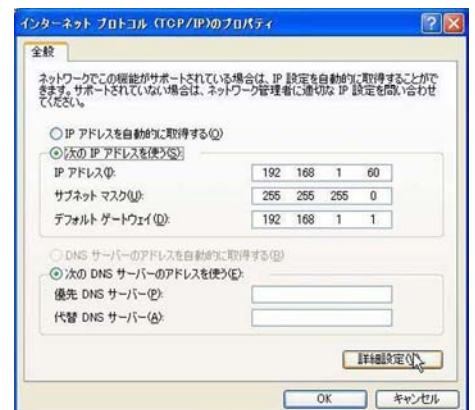


3. [インターネットプロトコル (TCP/IP)]にカーソルを合わせ、その下の[プロパティ]ボタンを左クリックしてください。



4. [次のIPアドレスを使う]のボタンを左クリックし、その下の[IPアドレス]・[サブネットマスク]・[デフォルトゲートウェイ]を入力します。

- [IPアドレス] 欄にはこのPCで使用するIPアドレスを入力します。
192. 168. 1. ×× (××は1~254で100以外の任意の数) を入力してください。
- [サブネットマスク] 欄には255. 255. 255. 0を入力してください。
- [デフォルトゲートウェイ] 欄は初期設定では空白で構いません。



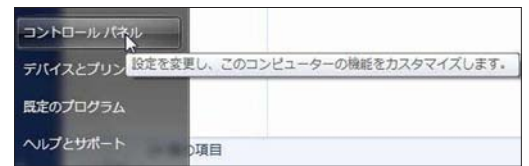
ポイント

- 本器のIPアドレスの初期設定は192. 168. 1. 100です。
- 本器のIPアドレスが分からなくなった場合は、前面のLED表示部に1分ごとにIPアドレスが表示されますのでそちらをご覧ください。

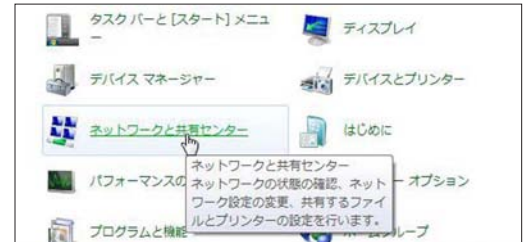
全ての値を入力したら、画面下の [OK] ボタンを左クリックします。
これでPCの設定は完了です。

例2. Windows7の場合

1. [スタート] ボタンを押し、[コントロールパネル] を左クリックします。



2. [ネットワークと共有センター] を左クリックします。



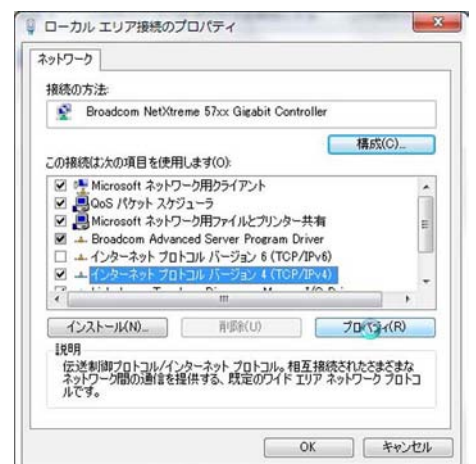
3. 左側にある [アダプターの設定の変更] を左クリックします。



4. [ローカルエリア接続] にカーソルを合わせて右クリックします。
表示メニューから [プロパティ] を選び、左クリックしてください。

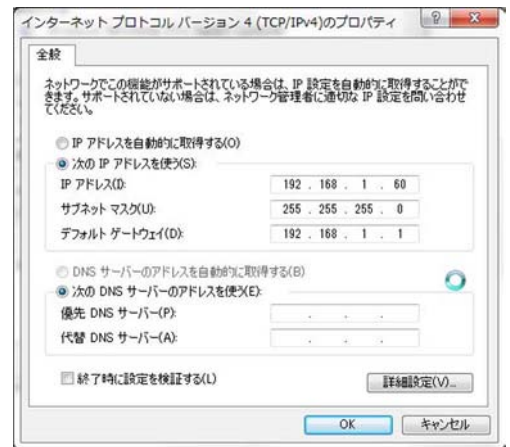


5. [インターネットプロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)] にカーソルを合わせ、その下の [プロパティ] ボタンを左クリックしてください。



6. [次のIPアドレスを使う]のボタンを左クリックし、その下のIPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイを入力します。

- [IPアドレス] 欄にはこのPCで使用するIPアドレスを入力します。192. 168. 1. ×× (××は1~254で100以外の任意の数)を入力してください。
- [サブネットマスク] 欄には255. 255. 255. 0を入力してください。
- [デフォルトゲートウェイ] 欄は初期設定では空白で構いません。



ポイント

- 本器のIPアドレスの初期設定は192. 168. 1. 100です。
- 本器のIPアドレスが分からなくなった場合は、前面のLED表示部に1分ごとにIPアドレスが表示されますのでそちらをご覧ください。

全ての値を入力したら、画面下の [OK] ボタンを左クリックします。これでPCの設定は完了です。

②本器とPCをLANケーブルで接続します。

PCと直接接続する場合はクロスケーブル、HUBを経由して接続する場合はストレートケーブルをご使用ください。

③WEBブラウザを立ち上げてアドレスバーにhttp://192. 168. 1. 100/と入力してください。

本器はHTML Ver4.0以上対応のブラウザであれば、どのブラウザでも設定可能です。推奨ブラウザはInternet Explorer/Firefoxです。

例：Internet Explorer

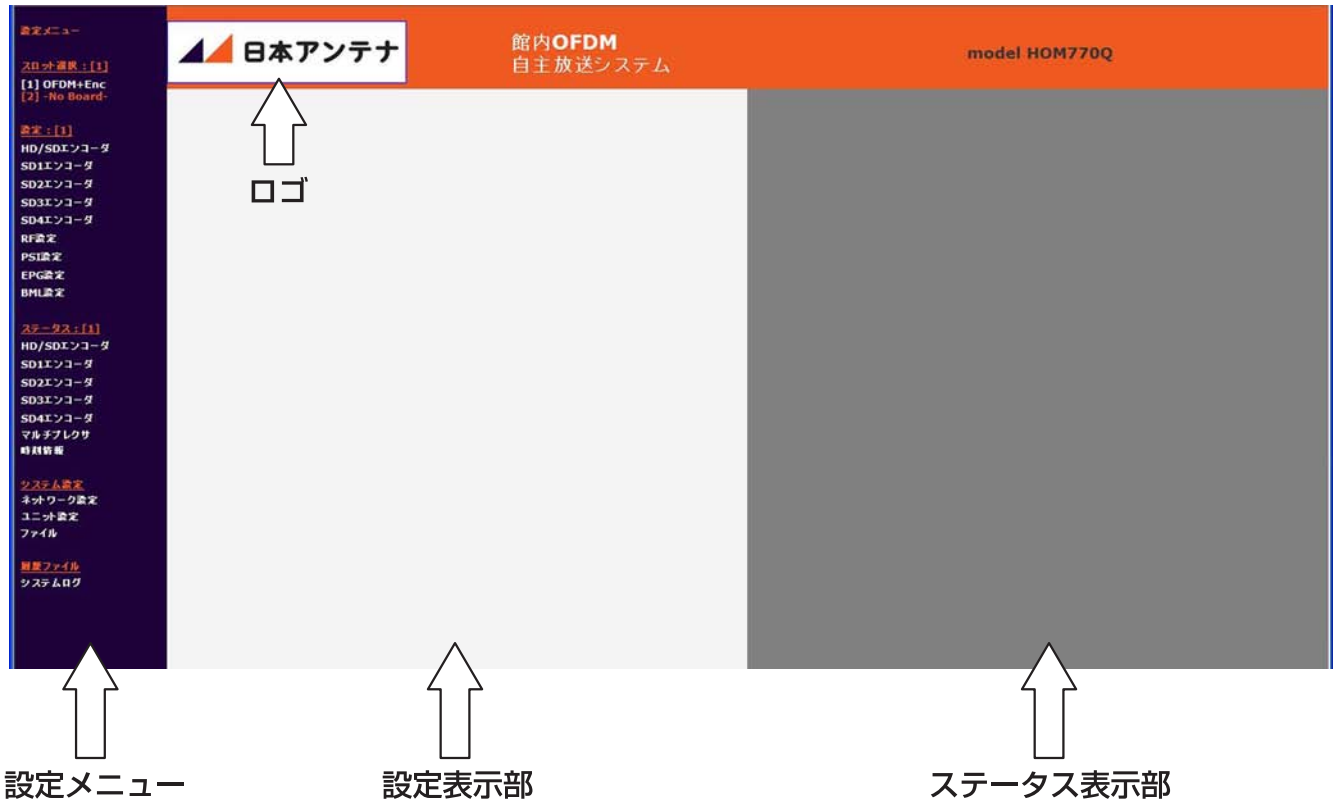


④WEBブラウザにメインメニューが表示されます。



本器の設定方法

本器のメインメニューは下図のように設定メニュー、設定表示部、ステータス表示部で構成されています。また、左上のロゴをクリックすると弊社ホームページへアクセスできます。



- 設定メニュー……………設定・表示したい項目を選択します。
- 設定表示部……………設定メニューで選択した項目の設定画面を表示します。
- ステータス表示部……………設定メニューで選択した項目のステータス画面を表示します。

●設定メニューについて

設定メニューでは、設定表示部とステータス表示部に表示する項目の選択をおこないます。
下図にて各選択項目について説明します。

The image shows a vertical menu titled "設定メニュー" (Settings Menu) with several sections. Red arrows point from callout boxes to specific items in the menu.

- 設定メニュー**
 - スロット選択 : [1]**
 - [1] OFDM+Enc
 - [2] -No Board-
 - 設定 : [1]**
 - HD/SDエンコーダ
 - SD1エンコーダ
 - SD2エンコーダ
 - SD3エンコーダ
 - SD4エンコーダ
 - RF設定
 - PSI設定
 - EPG設定
 - BML設定
 - ステータス : [1]**
 - HD/SDエンコーダ
 - SD1エンコーダ
 - SD2エンコーダ
 - SD3エンコーダ
 - SD4エンコーダ
 - マルチプレクサ
 - 時刻情報
 - システム設定**
 - ネットワーク設定
 - ユニット設定
 - ファイル
 - 履歴ファイル**
 - システムログ

●スロット選択
本器では設定をおこないません。
正常に動作している際は、[1]にOFDM+Encと表示されます。

●設定
項目をクリックすると各機能の設定画面が設定表示部に表示されます。

●ステータス
項目をクリックすると各機能のステータス画面がステータス表示部に表示されます。

●システム設定
項目をクリックすると各システムの設定画面が設定表示部に表示されます。

●履歴ファイル
[システムログ]をクリックすると各種ログを別ウインドウに表示します。

本機は電源を入れて約60秒で起動します。もし起動前にメインメニューを開いた場合は、下記のように設定メニューにて表示されますので、起動するまでお待ちください。
起動後にブラウザを更新すると上記の設定メニューが表示されます。

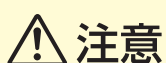
設定 : [1]
起動中です
リロードして下さい

ステータス : [1]
起動中です
リロードして下さい

●HD/SDエンコーダー設定について

設定メニューで設定：[1]の[HD/SDエンコーダー]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。[HD/SDエンコーダー]は[HD SDI IN]の映像・音声入力に対応しております。

HD/SDエンコーダーを設定メニュー画面で選択し、設定をおこなってください。



注意

- 設定の際は、異なるエンコーダーを設定することのないようご確認ください。
- 設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

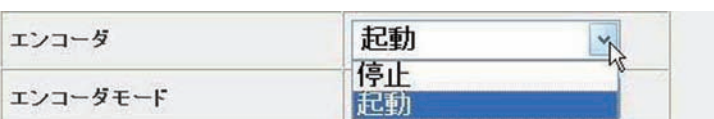
①エンコーダタイプ

入力される映像の方式を設定します。
HD/SD 1chまたはSD 4chが選択できます。
入力される映像方式を選択し、設定ボタンを押して決定してください。



②エンコーダー

HD/SDエンコーダーをオン/オフ設定します。
HD/SDエンコーダーを使用する場合は起動、使用しない場合は停止を選択し、設定ボタンを押して決定してください。



③エンコーダーモード

HD/SDエンコーダーがエンコードするモードを設定します。
本器ではMPEG2固定となります。



④入力タイプ

入力される映像信号タイプを設定します。
SDI、SDI+アナログオーディオ、コンポジットが
選択できます。
入力される入力タイプを選択し、設定ボタンを押し
て決定してください。



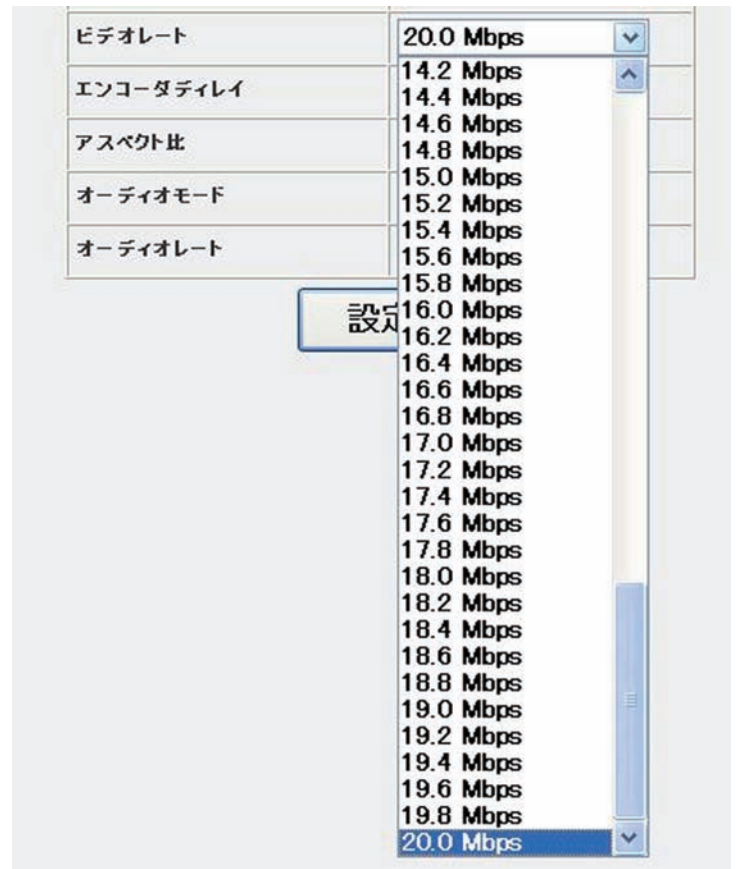
⑤ビデオフォーマット

HD/SDエンコーダーから出力する映像のビデオフ
ォーマットを設定します。
1440×1080または1920×1080が選択できま
す。出力されるビデオフォーマットを選択し、設定
ボタンを押して決定してください。



⑤ビデオレート

HD/SDエンコーダーから出力する映像のビットレ
ートを設定します。
2.0~20.0Mbpsの範囲にて0.2Mbpsステップで
設定できます。
ビデオレートの値を選択し、設定ボタンを押して決
定してください。



⚠ 注意

設定したビデオレートの値によっては、
OVER FLOWのエラーが発生する場合があ
ります。
エラーの詳細についてはP.43の「③入力TS
ビットレート」をご覧ください。

⑦エンコーダーディレイ

HD/SDエンコーダーから出力する映像のエンコーダーディレイを設定します。

0.8～3.0secの範囲にて0.1secステップで設定できます。

エンコーダーディレイの値を選択し、設定ボタンを押して決定してください。



⑧アスペクト比

入力される映像のアスペクト比を設定します。

4：3または16：9が選択できます。

入力映像のアスペクト比を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

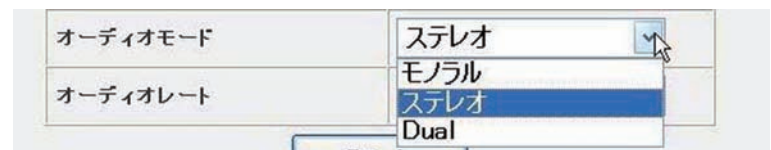


⑨オーディオモード

HD/SDエンコーダーから出力する音声のモードを設定します。

モノラル、ステレオ、Dualが選択できます。

オーディオモードを選択し、設定ボタンを押して決定してください。

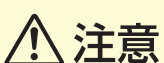


⑩オーディオレート

HD/SDエンコーダーから出力する音声のビットレートを設定します。

48, 64, 96, 128, 192, 256, 320, 384kbpsが選択できます。

オーディオレートの値を選択し、設定ボタンを押して決定してください。



注意

設定したオーディオレートの値によっては、OVER FLOWのエラーが発生する場合があります。

エラーの詳細についてはP.43の「③入力TSビットレート」をご覧ください。

●SDエンコーダー設定について

設定メニューで設定：[1]の[SD1エンコーダー]～[SD4エンコーダー]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。[SD1エンコーダー]～[SD4エンコーダー]はそれぞれ[CH1]～[CH4]の映像・音声入力に対応しております。

ご希望の入力CHに対応するSDエンコーダーを設定メニュー画面で選択し、設定をおこなってください。

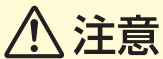
SDエンコーダー番号 (SD1～SD4)

↓

SD1 エンコーダ設定

①	エンコーダタイプ	SD 4ch
②	エンコーダ	起動
③	エンコーダモード	MPEG2
④	入力タイプ	コンポジット
⑤	ビデオレート	4.8 Mbps
⑥	アスペクト比	16:9
⑦	オーディオモード	ステレオ
⑧	オーディオレート	192kbps

設定
←
設定ボタン



注意

- 設定の際は、異なるエンコーダーを設定することのないようSDエンコーダー番号をご確認ください。
- 設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

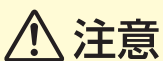
①エンコーダタイプ

入力される映像の方式を設定します。

HD/SD1chまたはSD4chが選択できます。SD4chを選択し、設定ボタンを押して決定してください。

入力される映像方式を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

エンコーダタイプ	HD/SD 1ch
エンコーダ	HD/SD 1ch SD 4ch



注意

- エンコーダタイプはHD/SDエンコーダー、SD1～SD4エンコーダー共通設定です。個別にエンコーダタイプを設定することはできませんのでご注意ください。
- 入力される映像方式がSMPTE259M/299Mの場合はエンコーダタイプをHD/SD 1chに設定し、HD/SDエンコーダー設定をおこなってください。SDエンコーダー設定では設定できません。

②エンコーダー

SDエンコーダーをオン/オフ設定します。

SDエンコーダーを使用する場合は起動、使用しない場合は停止を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

エンコーダ	起動
エンコーダモード	停止 起動

③エンコーダーモード

SDエンコーダーがエンコードするモードを設定します。
本器では、MPEG2固定となります。



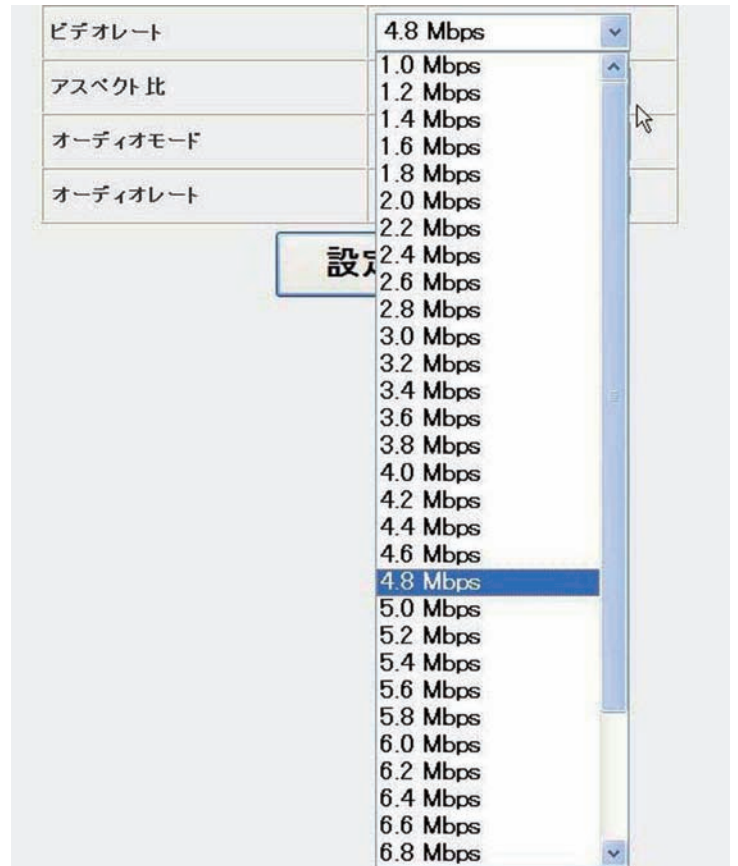
④入力タイプ

入力される映像信号タイプを設定します。
本器では、コンポジット固定となります。



⑤ビデオレート

SDエンコーダーから出力する映像のビットレートを設定します。
1.0~8.0Mbpsの範囲にて0.2Mbpsステップで設定できます。
ビデオレートの値を選択し、設定ボタンを押して決定してください。



⚠ 注意

設定したビデオレートの値によっては、OVER FLOWのエラーが発生する場合があります。
エラーの詳細についてはP.38の「③入力TSビットレート」をご覧ください。

⑥アスペクト比

入力される映像のアスペクト比を設定します。
4：3または16：9が選択できます。
入力映像のアスペクト比を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

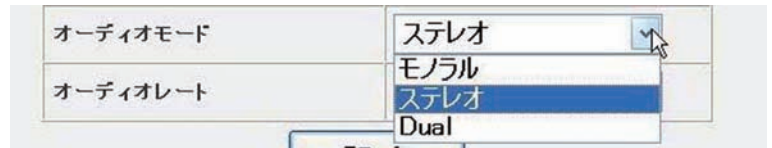


⑦オーディオモード

SDエンコーダーから出力する音声のモードを設定します。

モノラル、ステレオ、Dualが選択できます。

オーディオモードを選択し、設定ボタンを押して決定してください。

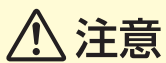


⑧オーディオレート

SDエンコーダーから出力する音声のビットレートを設定します。

48, 64, 96, 128, 192, 256, 320, 384kbpsが選択できます。

オーディオレートの値を選択し、設定ボタンを押して決定してください。



注意

設定したオーディオレートの値によっては、OVER FLOWのエラーが発生する場合があります。

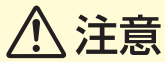
エラーの詳細についてはP.43の「③入力TSビットレート」をご覧ください。

●RF設定について

設定メニューで[RF設定]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。
ご希望の出力チャンネル番号と出力レベルを確認し、設定をおこなってください。

RF設定	
① 出力チャンネル番号	UHF-38 (623MHz) ▼
② 出力ゲイン(レベル)	110dBuV ▼
③ CWモード	オフ ▼

設定 ← 設定ボタン



注意

設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

①出力チャンネル番号

本器から出力するRF出力チャンネル番号を設定します。

VHF1～12ch、CATV13～63ch、UHF13～62chの中から任意のチャンネルが選択できます。

出力するチャンネル番号を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

出力チャンネル番号	UHF-38 (623MHz) ▼
出力ゲイン(レベル)	UHF-33 (593MHz)
CWモード	UHF-34 (599MHz)

設定

- UHF-35 (605MHz)
- UHF-36 (611MHz)
- UHF-37 (617MHz)
- UHF-38 (623MHz)
- UHF-39 (629MHz)
- UHF-40 (635MHz)
- UHF-41 (641MHz)
- UHF-42 (647MHz)
- UHF-43 (653MHz)
- UHF-44 (659MHz)
- UHF-45 (665MHz)
- UHF-46 (671MHz)
- UHF-47 (677MHz)
- UHF-48 (683MHz)
- UHF-49 (689MHz)
- UHF-50 (695MHz)
- UHF-51 (701MHz)
- UHF-52 (707MHz)
- UHF-53 (713MHz)
- UHF-54 (719MHz)
- UHF-55 (725MHz)
- UHF-56 (731MHz)
- UHF-57 (737MHz)
- UHF-58 (743MHz)
- UHF-59 (749MHz)
- UHF-60 (755MHz)
- UHF-61 (761MHz)
- UHF-62 (767MHz) ▼

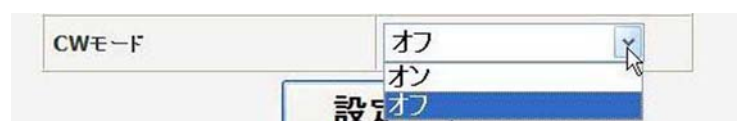
②出力ゲイン(レベル)

本器から出力するRF出力レベルを設定します。
95～110dB μ Vの範囲にて1dBステップで選択できます。
出力レベルを選択し、設定ボタンを押して決定してください。



③CWモード

CWモードのオン/オフを設定します。
CWモードをオンにすると変調無しのカリヤレベル出力となり、CWモード表示LEDが緑に点灯します。
CWモードでは従来のRF出力レベル確認ができます。
CWモードのオン/オフを選択し、設定ボタンを押して決定してください。



⚠ 注意 CWモードでのRF出力レベルの確認後は、必ずCWモードをオフに設定してください。CWモードがオンに設定されている際は、テレビ受信機での受信がおこなえません。

●PSI設定について

設定メニューで[PSI設定]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。
 [テレビ1]～[テレビ4]はそれぞれ[CH1]～[CH4]入力に対応しています。
 お使いになる環境を確認し、設定をおこなってください。

PSI設定

① リモコンキー 10

② ネットワーク名 日本アンテナ

③ TS名称 日本アンテナ

④ 地域番号 関東広域(1)

⑤ 地域事業者識別 事業者0(14)

⑥ 乗復フラグ 0

⑦

有無	番号	プログラム名	スクランブル	コピー
⑧ 有効	1	日本アンテナ1	-NA-	フリー
⑨ 有効	2	日本アンテナ2	-NA-	フリー
⑩ 有効	3	日本アンテナ3	-NA-	フリー
⑪ 有効	4	日本アンテナ4	-NA-	フリー

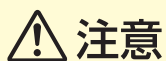
設定 ← 設定ボタン

現在のネットワークID 0x7FEE (32750)
 テレビ1のサービスID 0x0470 (1136)
 テレビ2のサービスID 0x0471 (1137)
 テレビ3のサービスID 0x0472 (1138)
 テレビ4のサービスID 0x0473 (1139)

← サービスID表示

注)
 D-PAの推奨は、リモコンキー="10"、
 地域事業者識別="14"です。

← D-pa推奨値




注意

設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

①リモコンキーについて

リモコンキーのIDを設定します。
1～12の中から選択できます。
リモコンキーを選択し、設定ボタンを押して決定してください。

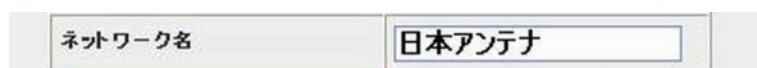
※D-paの推奨値は10です。



リモコンキー	10
ネットワーク名	1
TS名称	2
地域番号	3
地域事業者識別	4
景観フラグ	5
	6
	7
	8
	9
	10
	11
	12

②ネットワーク名について

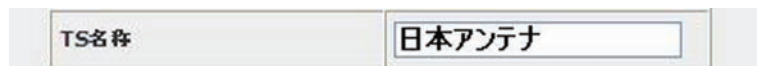
ネットワーク名を入力します。
最大入力文字数は半角で20文字(全角で10文字)です。
入力後は設定ボタンを押して決定してください。



ネットワーク名	日本アンテナ
---------	--------

③TS名称について

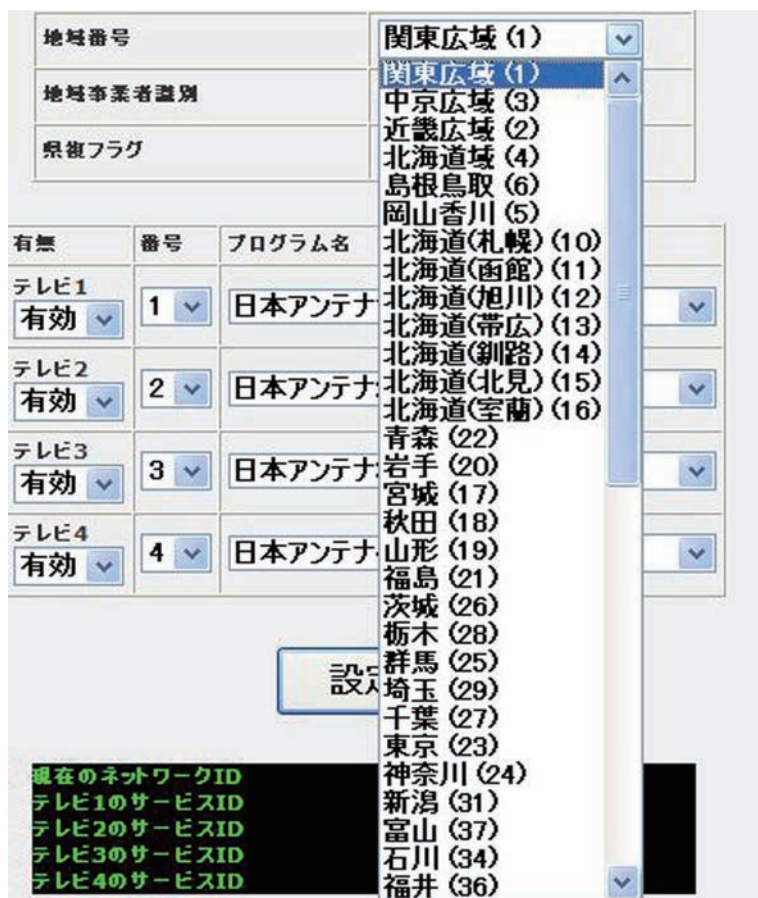
TS名称を入力します。
最大入力文字数は半角で20文字(全角で10文字)です。
入力後は設定ボタンを押して決定してください。



TS名称	日本アンテナ
------	--------

④地域番号について

放送するエリアを設定します。
お使いになる地域に合わせて選択できます。
選択後は設定ボタンを押して決定してください。



地域番号	関東広域 (1)
地域事業者識別	関東広域 (1)
景観フラグ	中京広域 (3)
	近畿広域 (2)
	北海道域 (4)
	島根鳥取 (6)
	岡山香川 (5)
	北海道(札幌) (10)
	北海道(函館) (11)
	北海道(旭川) (12)
	北海道(帯広) (13)
	北海道(釧路) (14)
	北海道(北見) (15)
	北海道(室蘭) (16)
	青森 (22)
	岩手 (20)
	宮城 (17)
	秋田 (18)
	山形 (19)
	福島 (21)
	茨城 (26)
	栃木 (28)
	群馬 (25)
	埼玉 (29)
	千葉 (27)
	東京 (23)
	神奈川 (24)
	新潟 (31)
	富山 (37)
	石川 (34)
	福井 (36)

有無	番号	プログラム名
テレビ1 有効	1	日本アンテナ
テレビ2 有効	2	日本アンテナ
テレビ3 有効	3	日本アンテナ
テレビ4 有効	4	日本アンテナ

現在のネットワークID
テレビ1のサービスID
テレビ2のサービスID
テレビ3のサービスID
テレビ4のサービスID

⑤地域事業者識別について

地域事業者識別を選択します。
[事業者A]～[事業者P]の中から選択できます。
選択後は設定ボタンを押して決定してください。

※D-paの推奨は事業者 O [14] です。

地域事業者識別	事業者 O (14) ▼		
県複フラグ	事業者 A (0) 事業者 B (1) 事業者 C (2) 事業者 D (3) 事業者 E (4) 事業者 F (5) 事業者 G (6) 事業者 H (7) 事業者 I (8) 事業者 J (9) 事業者 K (10) 事業者 L (11) 事業者 M (12) 事業者 N (13) 事業者 O (14) 事業者 P (15)		
有無	番号	プログラム名	
テレビ1 有効 ▼	1 ▼	日本アンテナ	
テレビ2 有効 ▼	2 ▼	日本アンテナ	
テレビ3 有効 ▼	3 ▼	日本アンテナ	
テレビ4 有効 ▼	4 ▼	日本アンテナ	

⑥県複フラグについて

県複フラグを選択します。
0または1が選択できます。選択後は設定ボタンを押して決定してください。

※D-paの推奨は0です。

県複フラグ	0 ▼
	0 1

⑦有無について

放送するプログラムの有効／無効を設定します。
有効にするとプログラムを放送し、無効にするとプログラムの放送休止となります。
プログラムの有効／無効を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

有無	番号	プログラム名	スクランブル	コピー
テレビ1 有効 ▼	1 ▼	日本アンテナ1	-NA- ▼	フリー ▼
有効 無効 ▼	2 ▼	日本アンテナ2	-NA- ▼	フリー ▼

⑧番号について

詳細なチャンネル番号を入力します。
1～8の中から選択できます。リモコンキーIDに選択した番号を加えた物がテレビ受信機で表示されるチャンネル番号になります。
チャンネル番号を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

有無	番号	プログラム名	スクランブル	コピー
テレビ1 有効 ▼	1 ▼	日本アンテナ1	-NA- ▼	フリー ▼
有効 ▼	2	日本アンテナ2	-NA- ▼	フリー ▼
有効 ▼	3	日本アンテナ3	-NA- ▼	フリー ▼
有効 ▼	4	日本アンテナ4	-NA- ▼	フリー ▼
有効 ▼	5	日本アンテナ5	-NA- ▼	フリー ▼
有効 ▼	6	日本アンテナ6	-NA- ▼	フリー ▼
有効 ▼	7	日本アンテナ7	-NA- ▼	フリー ▼
有効 ▼	8	日本アンテナ8	-NA- ▼	フリー ▼

⑨プログラム名について

プログラム名を入力します。
最大入力文字数は半角で20文字(全角で10文字)です。
入力後は設定ボタンを押して決定してください。

有無	番号	プログラム名	スクランブル	コピー
テレビ1 有効 ▼	1 ▼	日本アンテナ1	-NA- ▼	フリー ▼

⑩スクランブルについて

本器では、オフ固定となります。

有無	番号	プログラム名	スクランブル	コピー
テレビ1 有効 ▼	1 ▼	日本アンテナ1	-NA- ▼	フリー ▼

⑪コピーについて

デジタルコピーについて設定します。
フリー、1世代のみ、禁止、ダビング10が選択できます。
選択後は設定ボタンを押して決定してください。

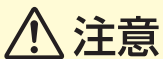
有無	番号	プログラム名	スクランブル	コピー
テレビ1 有効 ▼	1 ▼	日本アンテナ1	-NA- ▼	フリー ▼
有効 ▼	2 ▼	日本アンテナ2	-NA- ▼	フリー 1世代のみ 禁止 ダビング10

●EPG設定について

設定メニューで[EPG設定]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。EPGをお使いになる際は、各項目を入力し、設定をおこなってください。

EPG設定

①	電子番組ガイド	日本アンテナ1 [0x0470]	テレビ1 プログラム名と サービスID
		固定(下記内容) ▼	
②	番組名	日本アンテナ番組1	
③	番組内容	日本アンテナ番組内容1	
①	電子番組ガイド	日本アンテナ2 [0x0471]	テレビ2 プログラム名と サービスID
		固定(下記内容) ▼	
②	番組名	日本アンテナ番組2	
③	番組内容	日本アンテナ番組内容2	
①	電子番組ガイド	日本アンテナ3 [0x0472]	テレビ3 プログラム名と サービスID
		固定(下記内容) ▼	
②	番組名	日本アンテナ番組3	
③	番組内容	日本アンテナ番組内容3	
①	電子番組ガイド	日本アンテナ4 [0x0473]	テレビ4 プログラム名と サービスID
		固定(下記内容) ▼	
②	番組名	日本アンテナ番組4	
③	番組内容	日本アンテナ番組内容4	
		設定	設定ボタン



注意

設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

①電子番組ガイドについて

簡易EPGの生成モードを設定します。
無しの場合は簡易EPGは生成されません。固定の場合は下記の[番組名][番組内容]に記入した内容で簡易EPGが生成され、出力されます。
選択後は設定ボタンを押して決定してください。

電子番組ガイド	固定(下記内容) ↓
番組名	無し 固定(下記内容)
番組内容	日本アンテナ番組内容1

②番組名について

番組表に表示される番組名を入力します。
最大登録文字数は全角100文字ですが、番組表に表示される有効文字数は全角40文字となります。
入力後は設定ボタンを押して決定してください。

番組名	日本アンテナ番組1
-----	-----------

③番組内容について

番組表に表示される番組内容を入力します。
最大登録文字数は全角100文字ですが、番組表に表示される有効文字数は全角80文字となります。
入力後は設定ボタンを押して決定してください。

番組内容	日本アンテナ番組内容1
------	-------------

●BML設定について

設定メニューで[BML設定]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。お使いになる環境を確認し、設定をおこなってください。

The screenshot shows the 'BMLデータ送信設定' (BML Data Transmission Settings) screen. It features a table with three rows and two columns. Row 1: 'BML選択' (BML Selection) with a dropdown menu set to '無し(PSI設定も無し)'. Row 2: 'レート設定(ファイル選択のみ)' (Rate Setting (File Selection Only)) with a dropdown menu set to '1.0 Mbps'. Row 3: '視聴制限設定 (BML固定の場合のみ設定可)' (Viewing Limit Setting (Setting Possible Only for Fixed BML)) with a dropdown menu set to '無し'. Below the table is a '設定' (Settings) button highlighted with a red box and a blue arrow pointing to it from a '設定ボタン' (Settings Button) label. At the bottom, there is a 'BMLファイルアップロード' (BML File Upload) section with an input field, a '参照...' (Reference...) button, and an 'アップロード' (Upload) button.

①	BML選択	無し(PSI設定も無し) ▼
②	レート設定(ファイル選択のみ)	1.0 Mbps ▼
③	視聴制限設定 (BML固定の場合のみ設定可)	無し ▼

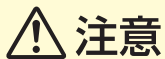
設定

設定ボタン

④ BMLファイルアップロード

参照...

アップロード



注意

設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

ポイント

- BML (Broadcast Makeup Language) は、ARIB (社団法人電波産業会) によってデータ放送向けに策定された記述言語です。BMLはARIB STD-B24にて規格化されています。
- データ放送は、BMLによって記述されたファイルをテレビに送信しておこなわれます。

①BML選択について

BML生成モードの設定をします。
無しの場合はデータ放送は出力されません。
BMLの有無を選択し、設定ボタンを押して決定してください。

A close-up of the 'BML選択' dropdown menu. The menu is open, showing three options: '無し(PSI設定も無し)', '無し(PSI設定も無し)', and '固定(ファイル)'. The first two options are highlighted in blue, and the mouse cursor is pointing at the second option.

BML選択	無し(PSI設定も無し) ▼
レート設定(ファイル選択のみ)	無し(PSI設定も無し)
	固定(ファイル)

②レート設定について

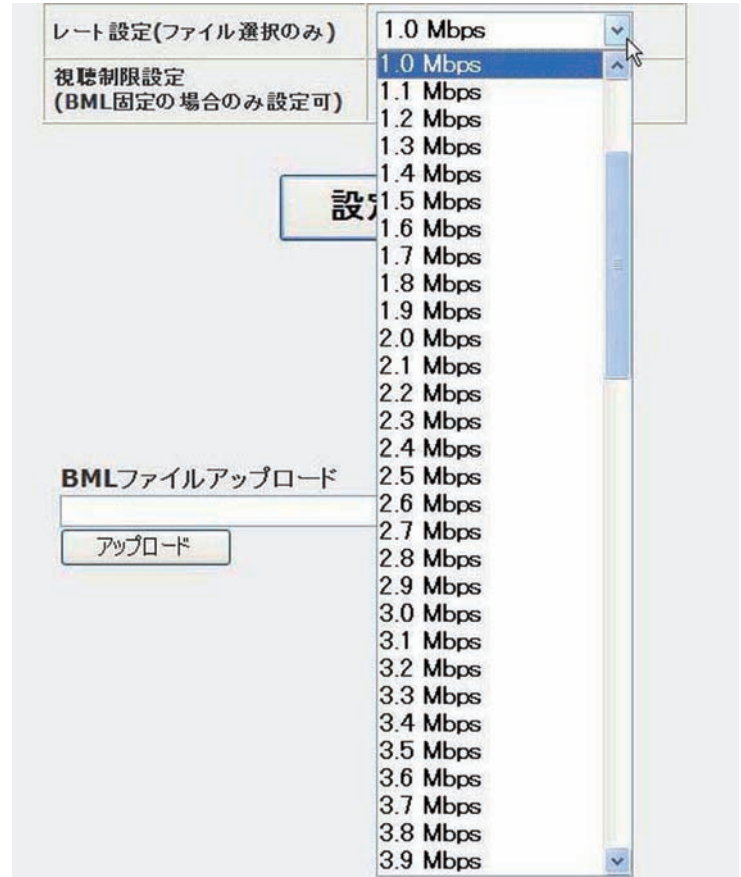
データ放送の出力レートを設定します。

0.1～10Mbpsの範囲にて0.1Mbpsステップで選択できます。

出力レートを選択し、設定ボタンを押して決定してください。

⚠ 注意

- 設定したレートの値によっては、OVER FLOWのエラーが発生する場合があります。エラーの詳細についてはP.43の「③入力TSビットレート」をご覧ください。
- 視聴制御機能を用いる際は、1.0Mbpsに設定することを推奨します。

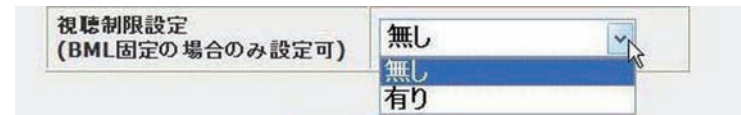


③視聴制限設定について

視聴制御機能について設定します。

データ放送で視聴制御機能を使用する際は有りに、使用しない場合は無しを選択してください。

選択後は設定ボタンを押して決定してください。



④BMLファイルアップロードについて

本器にBMLファイルをアップロードします。

参照ボタンを押すとBMLファイルを指定するウィンドウが開きますので、PC上に保存したBMLファイルを選択してください。

アップロード可能なBMLファイルは、拡張子tsのファイルとなります。

BMLファイルを選択し、アップロードボタンを押して本器へ書き込んでください。



●HD/SDエンコーダステータス表示について

設定メニューでステータス：[1]の[HD/SDエンコーダ]の項目を選択するとステータス表示部に下図のように表示されます。

HD/SDエンコーダの設定・動作状態確認などにお使いください。ステータスは自動で更新がおこなわれます。

設定値	
①	エンコーダタイプ HD/SD 1ch
②	エンコーダ 起動
③	エンコーダモード MPEG2
④	入力タイプ SDI
⑤	ビデオフォーマット 1920x1080
⑥	ビデオレート 20.0 Mbps
⑦	エンコーダディレイ 1.5 sec
⑧	アスペクト比 16:9
⑨	オーディオモード ステレオ
⑩	オーディオレート 192kbps

動作状態	
⑪	エンコーダ 起動
⑫	入力状態 入力有り (HD)
⑬	ビデオレート 0.033 Mbps (0Mbps - 22Mbps)
⑭	オーディオレート 0.000 kbps (0kbps - 500kbps)

Version 00040217 ← エンコーダバージョン番号

■設定値

①エンコーダタイプ

現在設定されているエンコーダタイプHD/SD 1chまたはSD 4chを表示します。

②エンコーダー

現在設定されているエンコーダーの動作状態(起動または停止)を表示します。

③エンコーダモード

現在設定されているエンコーダモード(MPEG2)を表示します。本器ではMPEG2固定です。

④入力タイプ

現在設定されている映像の入力タイプを表示します。

⑤ビデオフォーマット

現在設定されているビデオフォーマット(1440×1080または1920×1080)を表示します。

⑥ビデオレート

現在設定されている映像のビットレート(2.0~20.0Mbps)を表示します。

⑦エンコーダーディレイ

現在設定されているエンコーダーディレイ(0.8~3.0sec)を表示します。

⑧アスペクト比

現在設定されているアスペクト比(4:3または16:9)を表示します。

⑨オーディオモード

現在設定されている音声のモード(モノラル、ステレオ、Dual)を表示します。

⑩オーディオレート

現在設定されている音声のビットレート(48~384kbps)を表示します。

■動作状態

⑪エンコーダー

HD/SDエンコーダーの動作状態(起動または停止)を表示します。

⑫入力状態

本器への入力の有無(入力有りまたは入力無し)を表示します。

⑬ビデオレート

現在HD/SDエンコーダーから出力されている映像のビットレートを表示します。
入力される映像によっては設定値よりも大きな値となります。

⑭オーディオレート

現在HD/SDエンコーダーから出力されている音声のビットレートを表示します。
入力される音声によっては設定値よりも大きな値となります。

●SDエンコーダステータス表示について

設定メニューでステータス：[1]の[SD1エンコーダー]～[SD4エンコーダー]の項目を選択するとステータス表示部に下図のように表示されます。

SDエンコーダーの設定・動作状態確認などにお使いください。ステータスは自動で更新がおこなわれます。

SDエンコーダー番号 (SD1～SD4)

↓

SD1 エンコーダステータス

設定値

①	エンコーダタイプ	SD 4ch
②	エンコーダ	起動
③	エンコーダモード	MPEG2
④	入力タイプ	コンポジット
⑤	ビデオレート	4.8 Mbps
⑥	アスペクト比	16:9
⑦	オーディオモード	ステレオ
⑧	オーディオレート	192kbps

動作状態

⑨	エンコーダ	起動		
⑩	入力状態	入力有り (NTSC)		
⑪	ビデオレート	5.142 Mbps	10Mbps	10Mbps
⑫	オーディオレート	138.368 kbps	10kbps	500kbps

Version 00040217 ← **エンコーダーバージョン番号**

■設定値

①エンコーダタイプ

現在設定されているエンコーダタイプHD/SD 1chまたはSD 4chを表示します。

②エンコーダー

現在設定されているエンコーダーの動作状態(起動または停止)を表示します。

③エンコーダモード

現在設定されているエンコーダモードを表示します。本器ではMPEG2固定です。

④入力タイプ

現在設定されている映像の入力タイプを表示します。本器ではコンポジット固定です。

⑤ビデオレート

現在設定されている映像のビットレート(1.0~8.0Mbps)を表示します。

⑥アスペクト比

現在設定されているアスペクト比(4:3または16:9)を表示します。

⑦オーディオモード

現在設定されている音声のモード(モノラル、ステレオ、Dual)を表示します。

⑧オーディオレート

現在設定されている音声のビットレート(48~384kbps)を表示します。

■動作状態

⑨エンコーダー

SDエンコーダーの動作状態(起動または停止)を表示します。
エンコーダータイプがHD/SD 1chの時はHD/SD 1chモードと表示されます。

⑩入力状態

本器への入力の有無(入力有り〔NTSC〕または入力無し)を表示します。
エンコーダータイプがHD/SD 1chの時は表示されません。

⑪ビデオレート

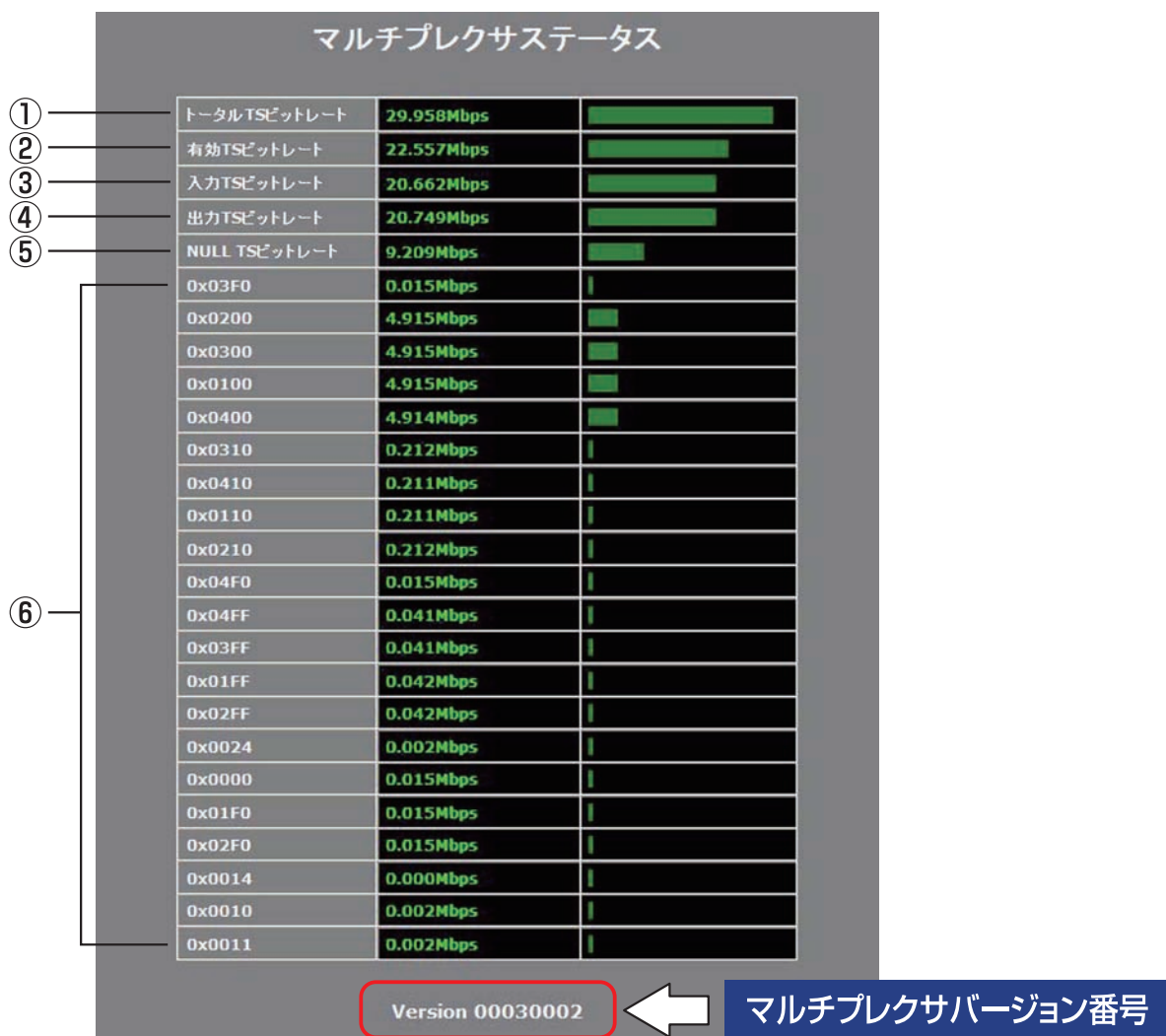
現在SDエンコーダーから出力されている映像のビットレートを表示します。
入力される映像によっては設定値よりも大きな値となります。
エンコーダータイプがHD/SD 1chの時は表示されません。

⑫オーディオレート

現在SDエンコーダーから出力されている音声のビットレートを表示します。
入力される音声によっては設定値よりも大きな値となります。
エンコーダータイプがHD/SD 1chの時は表示されません。

●マルチプレクサステータス表示について

設定メニューで[マルチプレクサ]の項目を選択するとステータス表示部に下図のように表示されます。エンコーダーの出力ビデオレート、出力オーディオレート、BMLの出力レート設定の確認などにお使いください。ステータスは自動で更新がおこなわれます。



①トータルTSビットレート

マルチプレクサから出力される総合の出力レートを表示します。この値は出力TSビットレートとNULL TSビットレートを合計した値となります。

②有効TSビットレート

映像などデータに使用可能なビットレートの上限值を表示します。

③入力TSビットレート




マルチプレクサに現在入力されているデータレートを表示します。

入力されているデータレートが有効TSビットレートを越えた場合、入力TSビットレートは赤く表示されます。赤く表示されていると正常な出力を得ることができませんので、緑の表示となるようエンコーダーの出力ビデオレート、出力オーディオレート、BMLの出力レートの設定値を調整してください。

ポイント

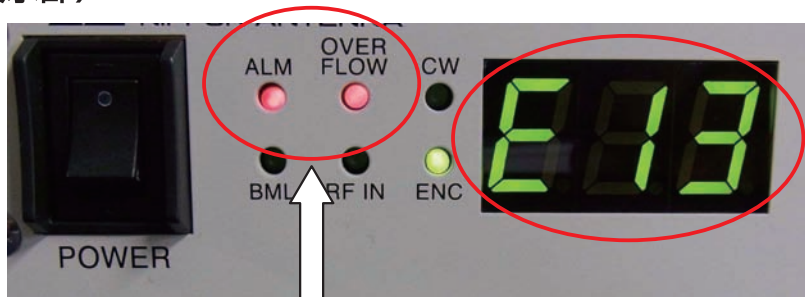
- 本器では、有効TSビットレートの値まで映像、音声、BMLのデータとして使用できます。
- 映像、音声、BMLのデータレートを総合したものが入力TSビットレートです。
- 入力TSビットレートの値が有効TSビットレートの値を超える場合、下記のようなエラーが発生します。

〈マルチプレクサステータス画面〉

有効TSビットレート	22.552Mbps	
入力TSビットレート	24.827Mbps	
出力TSビットレート	22.488Mbps	

赤く表示される

〈表示部〉



エラー番号E13

赤く点灯する

エラーの際は、正しい出力を得ることができませんので映像にブロックノイズが出るなど不具合が発生します。

⚠ 注意

映像、音声、BMLのビットレートは、入力される映像や音声、BMLのデータによって設定値から変動することがありますので、映像、音声、BMLの設定値の合計が有効TSビットレートの値に対して1Mbps以上小さくなるように設定してください。

④出力TSビットレート

マルチプレクサから出力されるデータレートを表示します。

⑤NULL TSビットレート

NULLパケットの出力ビットレートを表示します。

⑥0xXXXX

各PIDのデータレートを表示します。

●時刻情報ステータス表示について

設定メニューで[時刻情報]の項目を選択するとステータス表示部に下図のように表示されます。
地上デジタル放送波(ワンセグ)から時刻情報を取得する場合は、ワンセグステータスで受信状態をご確認ください。

時刻情報		
①	時刻合わせ日時	2012-10-11 16:08:18
②	現在時刻	2012-10-11 16:13:21
ワンセグステータス		
③	H/W	OK
④	チャンネル	UHF-27
⑤	ロック状態	ロック
⑥	C/N値	27.7

①時刻合わせ日時

最後に時刻合わせが行われた日時を表示します。

②現在時刻

現在本器が出力している時刻を表示します。

③H/W

内部配線の接続状態を表示します。異常がある場合はNGとなります。

④チャンネル

地上デジタル放送波(ワンセグ)を受信している放送チャンネルを表示します。

⑤ロック状態

地上デジタル放送波(ワンセグ)の受信状態(ロックまたはアンロック)を表示します。
正常に受信している時はロック、正常に受信できない時はアンロックを表示します。
常にロック状態を維持するように地上デジタル放送波(ワンセグ)を受信してください。

⑥C/N値

現在受信している地上デジタル放送波(ワンセグ)のC/N値を表示します。
C/N値が常に10以上となるように地上デジタル放送波(ワンセグ)を受信してください。

●ネットワーク設定について

設定メニューで[ネットワーク設定]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。お使いになるネットワーク環境を確認し、設定してください。

ネットワーク設定					
①	IPアドレス	192	168	1	100
②	ネットマスク	255	255	255	0
③	ゲートウェイ	192	168	1	1
④	NTPサーバ	192	168	1	101
		設定			設定ボタン
⑤	MACアドレス	00:50:C2:9C:C1:76			

注意 設定を変更した際は、必ず設定ボタンを押して設定を更新してください。設定の更新には数秒かかります。更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく更新されない恐れがあります。

①IPアドレス

本器のIPアドレスを設定します。
メインメニューでアクセスするアドレスになります。
お使いのネットワーク環境に合わせて入力し、設定ボタンを押して決定してください。

IPアドレス	192	168	1	100
--------	-----	-----	---	-----

注意 IPアドレスの変更の際は、それまで使用していたIPアドレスが無効となるため、メインメニューのURLの変更が必要となりますのでご注意ください。

②ネットマスク

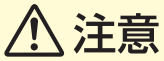
本器のサブネットマスクを設定します。
お使いのネットワーク環境に合わせて入力し、設定ボタンを押して決定してください。

ネットマスク	255	255	255	0
--------	-----	-----	-----	---

③ゲートウェイ

本器のデフォルトゲートウェイを設定します。
本器をインターネット経由で使用する場合に設定が必要となります。
お使いのネットワーク環境に合わせて入力し、設定ボタンを押して決定してください。

ゲートウェイ	192	168	1	1
--------	-----	-----	---	---



注意

インターネット経由で使用する際は、PCなどご使用中のネットワーク環境の設定変更も必要となりますのでご注意ください。

④NTPサーバ

本器に接続するNTPサーバのIPアドレスを設定します。
NTPサーバを設定することで本器の時刻合わせを自動で行うことが可能です。NTPによる時刻合わせを行う際は、P.42にて[時刻合わせ]でNTPを選択してください。
また、NTPサーバが同一LAN内に存在しない場合は、インターネット上で公開されているNTPサーバを設定することで時刻合わせをおこなうことができます。
インターネット上のNTPサーバを設定する場合は、必ずデフォルトゲートウェイの設定もおこなってください。
NTPサーバのIPアドレスを入力し、設定ボタンを押して決定してください。

NTPサーバ	192	168	1	101
--------	-----	-----	---	-----

⑤MACアドレス

本器のMACアドレスを表示します。

MACアドレス	00:03:69:06:C1:76
---------	-------------------

●ユニット設定について

設定メニューで[ユニット設定]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。
お使いになる環境を確認し、設定してください。

ユニット設定

動作モード設定

① 時刻合わせ チューナー

② 時刻合わせ間隔 86400 秒

設定 ボタン

日時手動設定

③ 年月日設定 2014 9 10

④ 時分秒設定 16 58 41

設定 ボタン

ワンセグチューナ設定

⑤ チャンネル UHF-27

設定 ボタン

バージョン情報

System 0212007B

M/B 02070101

拡張基板[1] Enc:00040217, OFDM:00030011

バージョン番号

⑥ 本体リセット

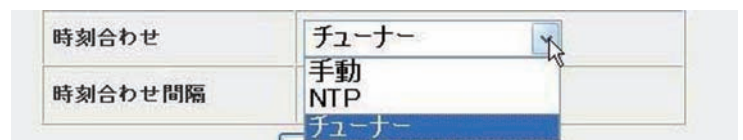
■動作モード設定

①時刻合わせ

時刻合わせ方法を選択します。
手動、NTP、チューナーの中から選択できます。

手動：[日時手動設定]にて時刻合わせをおこないます。
NTP：NTPによる自動時刻合わせをおこないます。
チューナー：地上デジタル放送(ワンセグ)による自動時刻合わせをおこないます。

時刻合わせを選択し、設定ボタンを押して決定してください。



②時刻合わせ間隔

[時刻合わせ]で手動以外が選択されている際の時刻合わせ間隔を設定します。

設定した間隔毎に時刻情報を取得して本器の時刻合わせをおこないます。

時刻合わせ間隔を入力し、設定ボタンを押して決定してください。

時刻合わせ間隔	86400	秒
---------	-------	---

■日時手動設定

③年月日設定

[時刻合わせ]で手動が選択されている際の年月日を設定します。

年月日を入力し、設定ボタンを押して決定してください。

年月日設定	2012	10	11
-------	------	----	----

④時分秒設定

[時刻合わせ]で手動が選択されている際の時分秒を設定します。

時分秒を入力し、設定ボタンを押して決定してください。

時分秒設定	16	13	10
-------	----	----	----

■ワンセグチューナー設定

⑤チャンネル

[時刻合わせ]でチューナーが選択されている際の地上デジタル放送(ワンセグ)の受信チャンネルを設定します。

UHF13~UHF62chの中から使用する地域の地上デジタル放送チャンネル(ワンセグ)を選択してください。

チャンネルを選択し、設定ボタンを押して決定してください。

The screenshot shows a vertical list of UHF channels from UHF-27 to UHF-56. A blue highlight is on UHF-27. To the left of the list are various settings: '時刻合わせ' (Time Sync) set to 'チュー' (Auto), '時刻合わせ間隔' (Time Sync Interval) set to '86400', '日時手動' (Manual Date/Time) set to 'オフ' (Off), '年月日設定' (Date/Time Setting) set to '2012 10 11', and '時分秒設定' (Time/Minute/Second Setting) set to '16 13 10'. A '設定' (Settings) button is visible. At the bottom, the 'チャンネル' (Channel) field shows 'UHF-27'.

⚠ 注意

- チャンネル設定の際は、本器の出力チャンネルを使用しないようご注意ください。
- ワンセグ放送がおこなわれているチャンネルを必ず設定してください。ワンセグ放送がおこなわれていないチャンネルの場合は時刻合わせをおこなうことができません。

⑥本体リセット

システムの再起動をおこないます。再起動には約30秒必要です。

設定した項目はそのままの値でシステムが再起動されます。

●設定ファイル入力・出力について

設定メニューで[ファイル]の項目を選択すると設定表示部に下図のように表示されます。
ファイルダウンロードで本器の設定情報をPC内に保存したり、ファイルアップロードでPC内に保存した設定ファイルを読み込んで本器に反映させることができます。

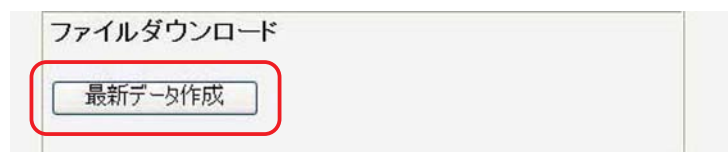


①ファイルダウンロード

本器から設定情報を読み出し、設定ファイルを保存します。

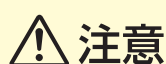
■最新データ作成

最新設定情報を読み出し、設定ファイルを作成します。
最新データ作成ボタンを押して設定ファイルを作成してください。



最新データ作成ボタンを押すと下図のように表示され、設定ファイルを生成します。
ファイルの生成には数秒かかります。

アドレス:http://192.168.1.100/cgi-bin/web_file.cgi?MadeEEPROMFile=1 ファイル生成中

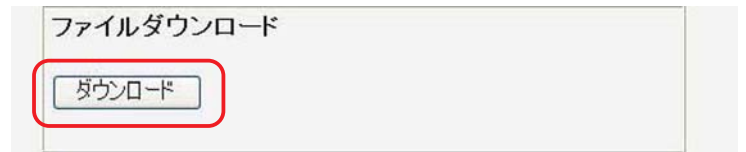


注意

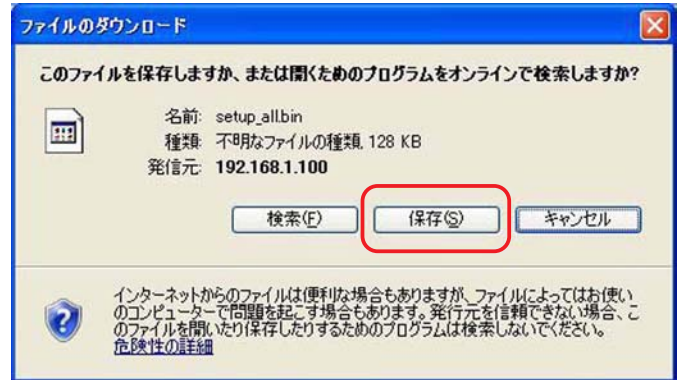
設定ファイルの生成中には本器の電源を切らないようにしてください。設定ファイルが生成できません。

■設定ファイル保存

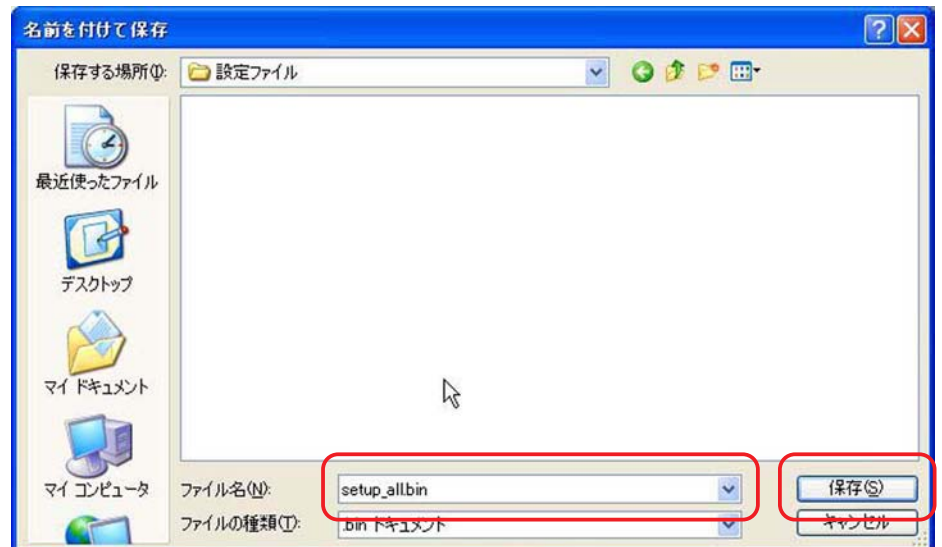
設定ファイルの生成が完了すると、最新データ作成ボタンがダウンロードボタンに変化します。



ダウンロードボタンを押すと右図のようなウィンドウが表示されますので、保存を押してください。



保存を押すと右図のようなウィンドウが表示されますので、設定ファイルの保存場所を選択し、設定ファイル名を入力して保存を押してください。



②ファイルアップロード

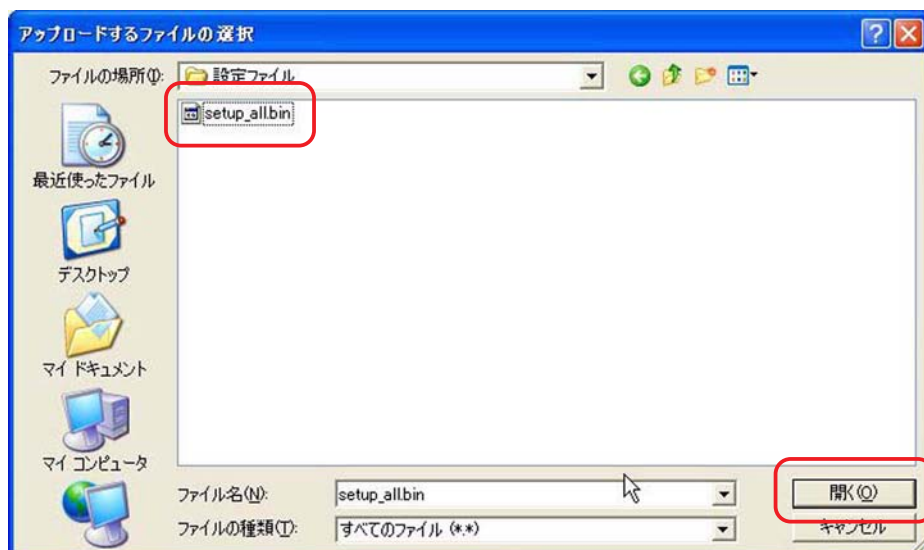
PCから設定ファイルを本器にアップロードします。

■設定ファイル指定

本器に反映する設定ファイルを指定します。
参照ボタンを押してください。

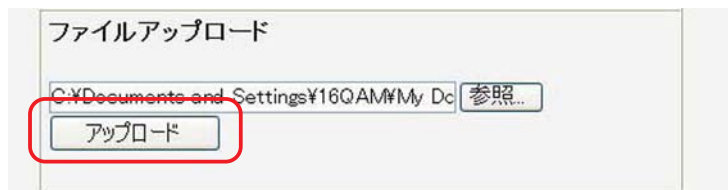


参照ボタンを押すと右図のようにウインドウが開きますので、保存した設定ファイルを選択して開くを押してください。



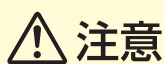
■設定ファイルアップロード

選択した設定ファイルの情報を本器にアップロードします。アップロードボタンを押してください。



アップロードボタンを押すと下図のように表示され、本器に設定ファイルの設定情報を書き込みます。設定ファイルの書き込みには約70秒必要です。

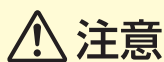
ファイルアップロード [/var/htdocs/setup_all.bin]
EEPROMへ書き込み中です。
65秒お待ちください。



注意

設定ファイルの更新中には本器の電源を切らないようにしてください。設定が正しく本器に書き込まれない恐れがあります。

設定ファイルの書き込み終了後は[ユニット設定]にて本体リセットしていただくか、または本器の電源を切り、再度電源を入れてください。



注意

設定情報は本器内メモリをクリアしなければ反映されません。設定ファイルをアップロードする際は、必ず本体リセットしていただくか、または電源を切って再度立ち上げるようお願いします。

●システムログ表示について

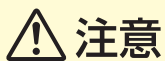
設定メニューで[システムログ]の項目を選択すると下図のような別ウインドウが開きます。システムログでは動作状況、エラーなどの情報を閲覧することができます。動作状況の確認やエラー内容の確認にお使いください。



```
2012/10/23 19:24:39 => <INFO> PCI FPGA Version 0x02060105
2012/10/23 19:24:39 => <INFO> PCI Slot[1] : 0x0A [OFDM+Enc]
2012/10/23 19:24:39 => <INFO> PCI Slot[2] : 0x00 [-No Board-]
2012/10/23 19:24:39 => <INFO> PCI Slot[3] : 0x00 [-No Board-]
2012/10/23 19:24:39 => <INFO> PCI Slot[4] : 0x00 [-No Board-]
2012/10/23 19:24:39 => Version : 02.02.006F
2012/10/23 19:24:39 => System Info : 00000007
2012/10/23 19:24:39 => Option Info : 00000001
2012/10/23 19:24:39 => Custum Info : 00000001
2012/10/23 19:24:39 => Language : 0
2012/10/23 19:24:39 => Time Adjust : 2
2012/10/23 19:24:39 => Web Control : 1
2012/10/23 19:24:39 => Make : 2000/01/01 00:18:51
2012/10/23 19:24:39 => Modify : 2012/10/23 14:20:18
2012/10/23 19:24:39 => IP Addr : 192.168.1.100
2012/10/23 19:24:39 => Net Mask : 255.255.255.0
2012/10/23 19:24:39 => GateWay : 192.168.1.1
2012/10/23 19:24:39 => NTP : 192.168.1.101
2012/10/23 19:24:39 => SNMP : 192.168.199.199
2012/10/23 19:24:39 => TimeAdjInt : 3600(sec)
2012/10/23 19:24:39 => Unit ID : 00000000
2012/10/23 19:24:39 => Unit Name : HOM770S
2012/10/23 19:24:39 => MAC Address : 00:50:C2:9C:C1:76
2012/10/23 19:24:39 => PCI Slot1 : 0x0A
2012/10/23 19:24:39 => PCI Slot2 : 0x00
2012/10/23 19:24:39 => PCI Slot3 : 0x00
2012/10/23 19:24:39 => PCI Slot4 : 0x00
2012/10/23 19:24:39 => ifconfig eth0 192.168.1.100 netmask 255.255.255.0
2012/10/23 19:24:40 => route add default gw 192.168.1.1
2012/10/23 19:24:40 => External Storage : SD Card
2012/10/23 19:24:40 => PCI Slot1 OFDM+Encoder Init Start
2012/10/23 19:24:41 => PCI Slot1 OFDM+Encoder H/W Init
2012/10/23 19:24:41 => PCI Slot1 OFDM+Encoder Init End
2012/10/23 19:24:41 => PCI Slot1 OFDM+Encoder IIC Setup Start
2012/10/23 19:24:41 => VCOX = 37800 (0x93A8)
2012/10/23 19:24:41 => PCI Slot1 OFDM+Encoder IIC Setup End
2012/10/23 19:24:41 => PCI Slot1 OFDM+Encoder SPI Setup Start
2012/10/23 19:24:46 => PCI Slot1 OFDM+Encoder SPI Setup End
2012/10/23 19:24:53 => <INFO> DBS Main Prgram Ready
2012/10/23 19:24:59 => <INFO> Tuner Time adjust : 2012-10-23 19-24-59
2012/10/23 19:24:59 => <NG> SD1 input no signal.
2012/10/23 19:24:59 => <NG> SD2 input no signal.
2012/10/23 19:24:59 => <NG> SD3 input no signal.
```

動作状況表示

エラー情報表示



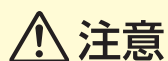
注意

本器の電源を切るとシステムログは消去されますのでご注意ください。電源を切る際は、システムログを保存してからおこなうことをおすすめします。

簡易視聴制限ソフトウェアの設定方法

本器付属の簡易視聴制限ソフトウェアAMuxInterCASは、データ放送を利用してBCAS IDで指定するテレビに対して映像・音声の視聴制限または解除をおこなうソフトウェアです。

本器は、AMuxInterCASを用いてARIBの規格に準拠したデータ放送対応のテレビに対して簡易的な視聴制御をおこなうことができます。



注意

- データ放送非対応のテレビまたはARIBの規格を満たしていないテレビでは正しく動作しません。これらのテレビでは常に視聴制限状態となり、解除できませんのでご注意ください。
- テレビやチューナーの仕様によっては視聴制御をおこなうことができない場合や他の機能に障害をあたえる場合がありますのでご注意ください。

視聴制限モードのデフォルト設定では映像・音声を隠蔽して放送をおこないます。

本ソフトウェアでは、各テレビに挿入されているBCASカードのIDを登録することで視聴制限を解除します。




注意

BCASカードが抜かれたテレビでは視聴制限を解除できませんのでご注意ください。

■ソフトウェアのインストール

1. PCにAMuxInterCASをインストールします。データCDの[簡易視聴制限ソフトウェア]フォルダを開き、AMuxInterCASforHOM.zipを展開してください。展開して出来上がるフォルダ内のsetup.exeをダブルクリックするとインストーラーが立ち上がりますので、画面の指示に従ってインストールしてください。インストールの際は、インターネット接続が必要な場合がありますのでご注意ください。

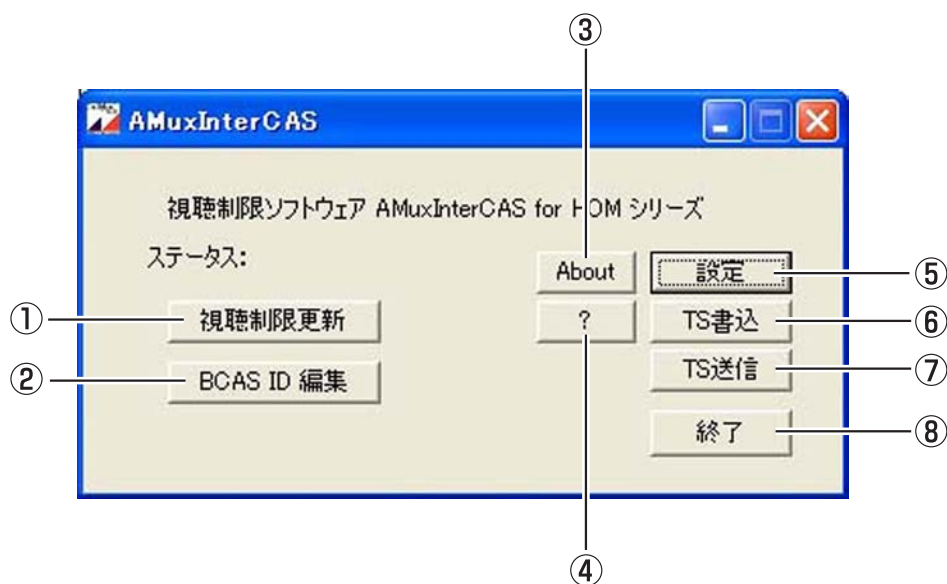
2. AMuxInterCASを起動します。インストール後にデスクトップ上に作成される  アイコンをダブルクリックすると以下のようなウインドウが表示されます。



このウインドウのボタンにて視聴制御または解除の設定や実行をおこないます。

■設定ウィンドウの説明

AMuxInterCASの設定ウィンドウについて説明します。



①視聴制限更新ボタン

設定したBCAS IDのテレビに対し視聴制御を実行します。本器の電源を切ると実行した視聴制御の設定は失われますので、保存する場合は⑥TS書込ボタンを押して本器内のフラッシュメモリに書き込んでください。

②BCAS ID編集ボタン

視聴制御・解除をおこなうテレビのBCAS IDの編集をおこないます。

③Aboutボタン

プログラムのバージョン情報を表示します。

④? ボタン

ヘルプファイル(PDF)を表示します。

⑤設定ボタン

本器のIPアドレスや表示メッセージの編集などの各種設定ダイアログを表示します。

⑥TS書込ボタン

視聴制限データ放送プログラムのTSファイルを本器内のフラッシュメモリに保存します。本器の起動時に保存した視聴制限データ放送プログラムが放送されます。

⑦TS送信ボタン

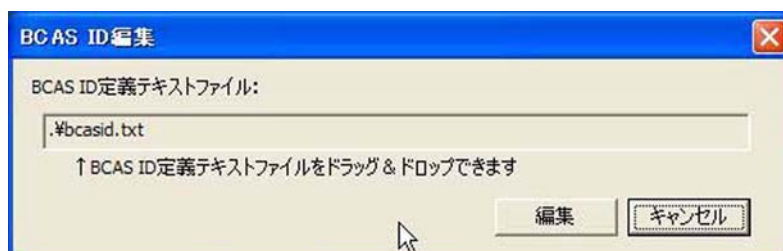
視聴制限データ放送プログラムのTSファイルを本器のメモリへ送信します。本器の電源を切ると送信したデータは失われますので、保存する場合は⑥TS書込ボタンを押して本器内のフラッシュメモリに書き込んでください。

⑧終了ボタン

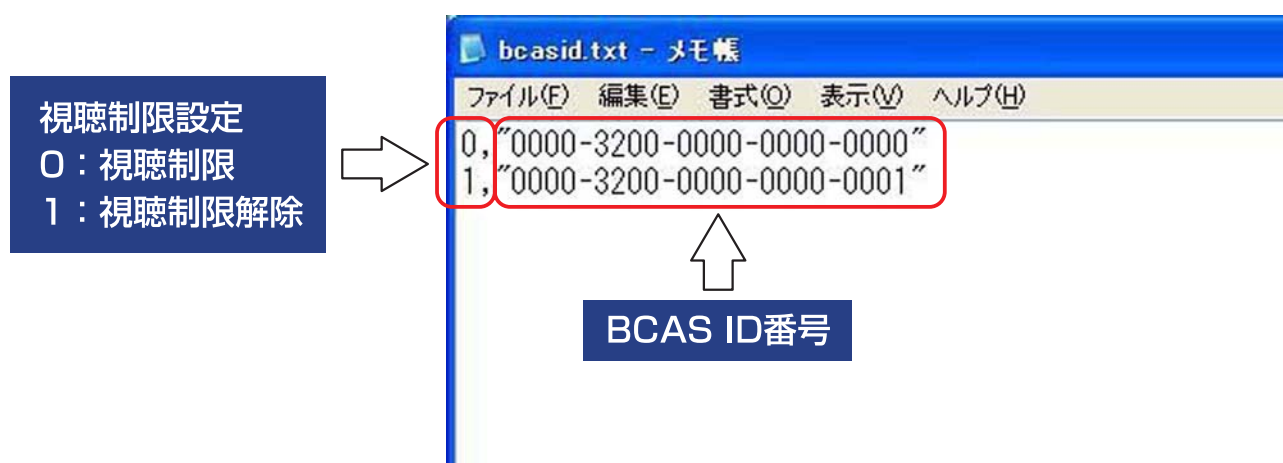
AMuxInterCASを終了します。

■BCAS ID編集について

BCAS ID編集ボタンを押すと、下図のようなBCAS編集ダイアログを表示します。デフォルトでは本ソフトウェアをインストールしたフォルダにあるbcasid.txtがBCAS IDを登録するテキストファイルになります。別のフォルダにあるテキストファイルを指定する場合は、そのフォルダを開いてテキストファイルをこのダイアログにドラッグ&ドロップしてください。



編集ボタンを押すと、上記で指定したテキストファイルを開きますので、BCASカードのID番号毎に視聴制限設定を記述して登録をおこないます。



BCAS IDの登録について、説明します。

最初に、視聴制限の設定を記述します。視聴制限をかける場合は[0]を、視聴制限を解除する場合は[1]を入力してください。

次に、[,](カンマ)を入力し、その後BCAS ID番号を[" "](ダブルクォーテーション)で括り、4桁毎に[-](ハイフン)でつなげて入力します。

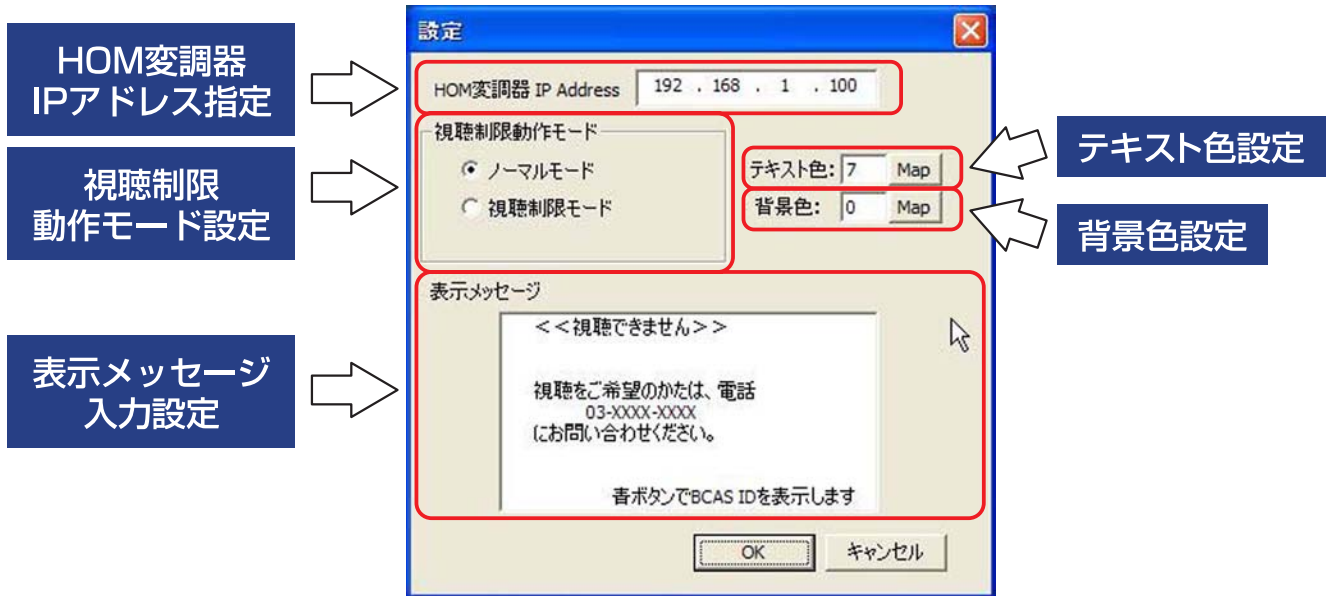
複数のBCAS IDを登録する場合は、上図のように改行して次行に同様の記述をおこなってください。

文字は全て半角で入力します。

記述が終了したら、テキストファイルを保存してください。

■設定について

設定ボタンを押すと下図のような設定ダイアログを表示します。



1. HOM変調器 IPアドレス指定

[ネットワーク設定]で設定した本器のIPアドレスを入力します。

2. 視聴制限動作モード設定

動作モードはノーマルモードまたは視聴制限モードが選択できます。

ノーマルモードの際は、データ放送に対応しているテレビで視聴制限をおこなう場合に「チラ見(チャンネルを変更した時一瞬映像が出てから隠蔽状態になる)」が起きます。

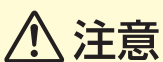
ノーマルモードの際は本器の[BMLデータ送信設定]にてBML選択を固定に設定し、視聴制限設定を無しに設定する必要があります。

ポイント ノーマルモードの際は、視聴制限モードで正しく動作しないデータ放送対応テレビに対しても視聴制御をおこなうことができる場合があります。

視聴制限モードの際は、BCAS ID編集で視聴制限を解除したテレビのみ映像や音声を視聴できます。

また、チラ見防止機能がついておりますので、視聴制限をおこなう際に映像が見えてしまうことはありません。

視聴制限モードの際は本器の[BMLデータ送信設定]にてBML選択を固定に設定し、視聴制限設定を有りに設定する必要があります。

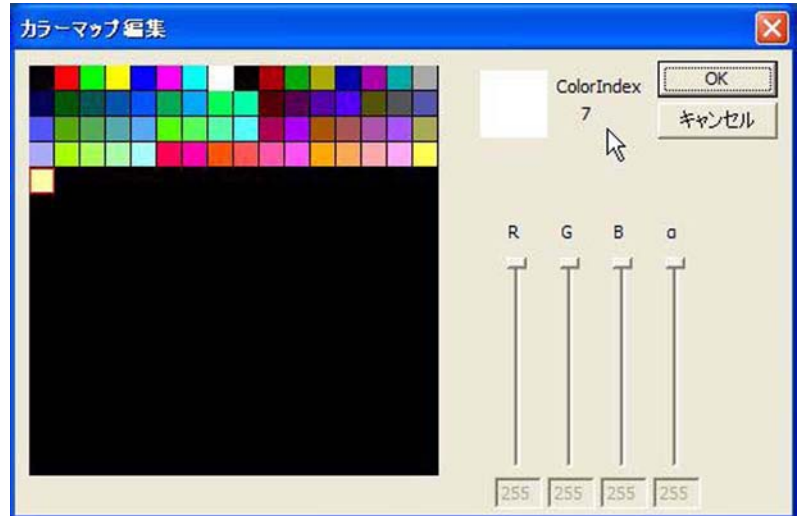


注意

データ放送非対応のテレビでは正しく動作しません。このようなテレビでは常に視聴制限状態となり、解除できませんのでご注意ください。

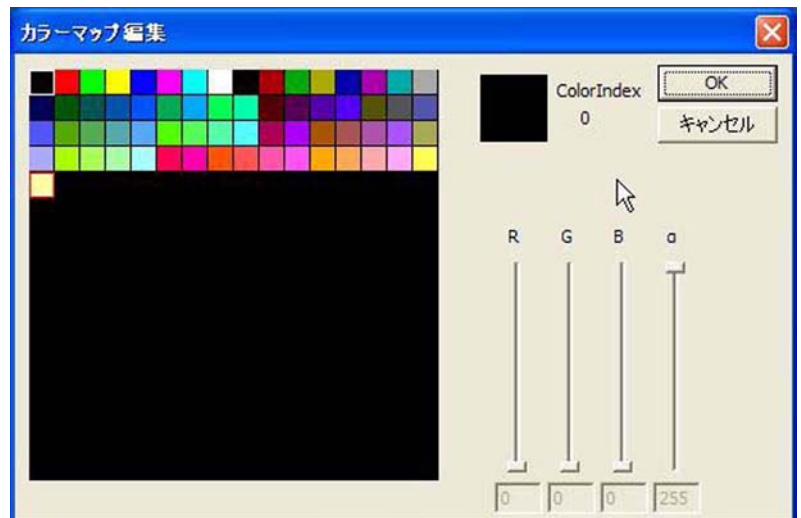
3. テキスト色設定

視聴制限をおこなう際に表示されるメッセージのテキスト色を設定します。
テキスト色を選択し、設定してください。



4. 背景色設定

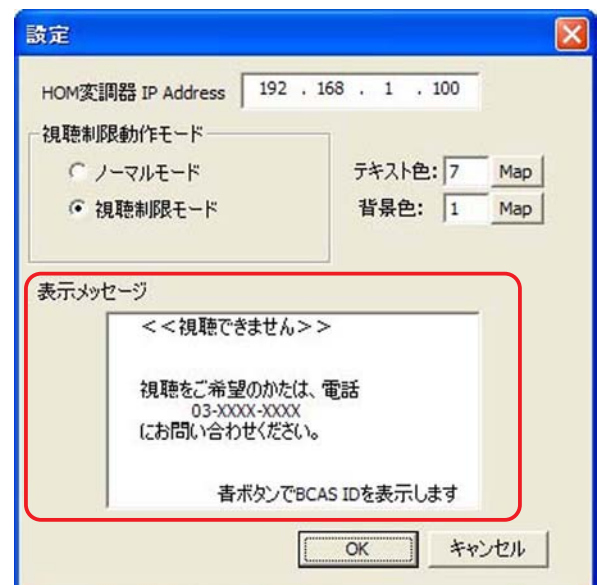
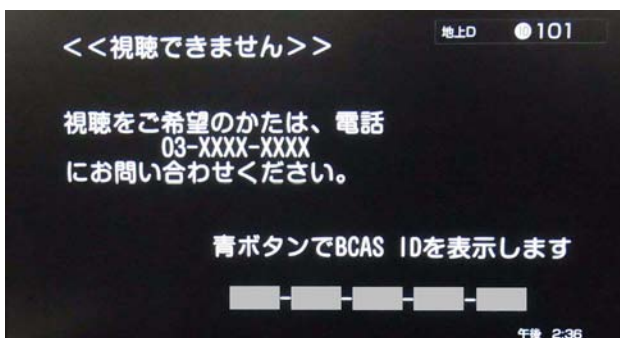
視聴制限をおこなう際に表示される画面の背景色を設定します。
背景色を選択し、設定してください。



5. 表示メッセージ入力設定

視聴制限をおこなう際にテレビに表示するメッセージを入力します。表示できるメッセージは全角24文字×9行です。

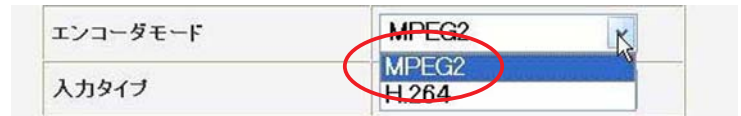
<テレビ画面>



テレビのリモコンの青ボタンを押すとBCAS IDをテレビ画面に表示できますので、メッセージにはこの旨を記述するようお願いします。

■変調器の設定

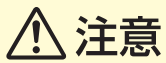
1. 本器の [SDエンコーダー設定] にてエンコーダーモードをMPEG2に設定します。



2. 本器の [BMLデータ送信設定] にてBML選択を固定に設定し、本ソフトウェアの視聴制限動作モードに合わせて視聴制限設定を設定します。



視聴制限動作モードがノーマルモードの際は無しに、視聴制限動作モードが視聴制限モードの際は有りに設定してください。



注意

視聴制御をおこなう際は、必ず本器の [SDエンコーダー設定] と [BMLデータ送信設定] をおこなってください。設定をおこなわない場合には、正しく視聴制御をおこなうことができません。

簡易視聴制限ソフトウェアの使い方

1. PCに簡易視聴制限ソフトウェアをインストールし、ソフトウェアを立ち上げます。
2. 本器の電源を入れて起動し、メインメニューを開きます。
3. 設定ボタンを押して、本器のIPアドレスを入力します。
4. 視聴制限動作モードをノーマルモードまたは視聴制限モードに設定します。
5. PCの[BML設定]を視聴制限動作モードの設定に合わせて変更します。
6. 本器とテレビを接続し、ご希望のテキスト色、背景色、表示メッセージを入力してTS送信ボタンを押します。
7. テレビのリモコンにある青ボタンを押してテレビのBCAS IDを表示させます。



8. BCAS ID編集にてテレビの視聴制御の状態とBCAS IDを登録し、視聴制限更新ボタンを押して実行します。
9. 視聴制御が正しくおこなわれていることを確認したら、TS書込ボタンを押して本器内フラッシュメモリに設定を保存してください。
10. 視聴制限ソフトウェアの終了ボタンを押して、ソフトウェアを終了します。

※本器の電源を切り、次に電源を入れた時は最後におこなった設定で起動しますので、設定の変更がなければ毎回設定をおこなう必要はありません。

使用上の注意

1. 本器の前面FAN吸気口および背面排気口は、通風および放熱のために設けております。本器動作中にFAN吸気口や排気口を塞いだり覆ったりしないようご注意ください。
また、FAN吸気口および排気口がゴミや埃などにより塞がっている場合は、掃除機などにより清掃してください。
2. FANが停止または回転量が低下している場合、ARM表示LEDが赤く点灯し、アラーム接点出力よりエラーを出力します。また、システムログにてエラー情報を表示します。FANが停止または回転量が低下している際は、FANの交換が必要となりますので最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
3. 本器に使用しているFANモーターには、可動部を含むため寿命があります。購入後5年程度を目安に交換をお願いします。FAN交換については最寄りの弊社営業所にお問い合わせください。
4. 機器の設置は高温多湿などを避け、最適な場所をお選びください。
5. 機器の設定やファイルのダウンロード・アップロードをおこなっている最中に本器の電源を切ると、設定データやファイルが正しく保存されず、壊れる可能性があります。本器の電源を切る際は、機器の設定やファイルのダウンロード・アップロードが完了していることを確認してからおこなってください。
6. 設定完了後は、必ずファイルのダウンロードをおこないバックアップを保存してください。
7. 本器より出力する簡易EPGは、お使いのテレビによっては正しく表示されないことがあります。
8. 付属の簡易視聴制限ソフトウェアAMuxInterCASはARIBの規格に準拠したデータ放送対応のテレビに対応しています。データ放送非対応のテレビやARIBの規格に準拠していないテレビでは正しく動作いたしませんのでご注意ください。また、テレビやチューナーの仕様によっては視聴制御できないことがあります。
9. 本器を監視装置を用いて監視する際は、監視装置の接点入力条件を必ずご確認ください。正しく接続しないと機器故障の原因となります。
10. 本器を既存のネットワークに接続する際は、接続するネットワークに合わせた設定が必要となります。ネットワーク設定についてはお使いになるネットワークの管理者へお問い合わせください。

工場出荷時設定一覧表

項 目		デフォルト値	
HD/SDエンコーダー設定	エンコーダータイプ	SD4ch	
	エンコーダー	停止	
	エンコーダーモード	MPEG2	
	入力タイプ	SDI	
	ビデオフォーマット	1920×1080	
	ビデオレート	20.0Mbps	
	エンコーダーディレイ	1.5sec	
	アスペクト比	16:9	
	オーディオモード	ステレオ	
	オーディオレート	192kbps	
SD1エンコーダー設定～ SD4エンコーダー設定	エンコーダータイプ	SD4ch	
	エンコーダー	起動	
	エンコーダーモード	MPEG2	
	入力タイプ	コンポジット	
	ビデオレート	4.8Mbps	
	アスペクト比	16:9	
	オーディオモード	ステレオ	
	オーディオレート	192kbps	
RF設定	出力チャンネル番号	UHF-38 (623MHz)	
	出力ゲイン(レベル)	110dBμV	
	CWモード	オフ	
PSI設定	リモコンキー	10	
	ネットワーク名	日本アンテナ	
	TS名称	日本アンテナ	
	地域番号	関東広域(1)	
	県複フラグ	0	
	地域事業者識別	業者0(14)	
	テレビ1	有 無	有効
		番 号	1
		プログラム名	日本アンテナ1
		スクランブル	-NA-
		コ ピ ー	フリー
	テレビ2	有 無	有効
		番 号	2
		プログラム名	日本アンテナ2
スクランブル		-NA-	
コ ピ ー		フリー	

項 目		デフォルト値	
PSI設定	テレビ 3	有 無	有 効
		番 号	3
		プログラム名	日本アンテナ3
		スクランブル	-NA-
		コ ピ ー	フリー
	テレビ 4	有 無	有 効
		番 号	4
		プログラム名	日本アンテナ4
		スクランブル	-NA-
		コ ピ ー	フリー
EPG設定	日本アンテナ 1	電子番組ガイド	無 し
		番 組 名	日本アンテナ番組 1
		番 組 内 容	日本アンテナ番組内容 1
	日本アンテナ 2	電子番組ガイド	無 し
		番 組 名	日本アンテナ番組 2
		番 組 内 容	日本アンテナ番組内容 2
	日本アンテナ 3	電子番組ガイド	無 し
		番 組 名	日本アンテナ番組 3
		番 組 内 容	日本アンテナ番組内容 3
	日本アンテナ 4	電子番組ガイド	無 し
		番 組 名	日本アンテナ番組 4
		番 組 内 容	日本アンテナ番組内容 4
BMLデータ送信設定	B M L 選 択		無 し
	レ ー ト 設 定		1.0Mbps
	視 聴 制 限 設 定		無 し
ネットワーク設定	I P ア ド レ ス		192. 168. 1. 100
	ネ ッ ト マ ス ク		255. 255. 255. 0
	ゲ ー ト ウ ェ イ		192. 168. 1. 1
	N T P サ ー バ ー		192. 168. 1. 101
ユニット設定	動作モード設定	時 刻 合 わ せ	チューナー
		時刻合わせ間隔	86400
	日時手動設定	年 月 日 設 定	起動時に自動で入力されます。
		時 分 秒 設 定	起動時に自動で入力されます。
	ワンセグチューナー設定	チ ャ ン ネ ル	UHF-27

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7106423 平成26年10月